

小学校英語

# NEW HORIZON Elementary



## 異学年が学び合う良さを活かして

複式学級指導計画を作る



contents

はじめに	
中村典生先生にお聞きしました「複式学級のこと」	2
学び合う外国語の授業づくり いろいろな工夫と取組	3
複式学級の特性を活かす—島根県雲南市の取組—	4
NEW HORIZON Elementaryの、異学年が学び合うための3大特色	6
NEW HORIZON Elementaryの教科書紙面構成	8
複式学級の一年間	10
NEW HORIZON Elementaryを使用した授業実践案	12
NEW HORIZON Elementary 5・6で複式学級指導案づくりに挑戦!	16
指導案例(5・6年 Unit 1 1/8~6/8 時間分)	18
[資料] NEW HORIZON Elementary 折衷案による年間指導計画例	24

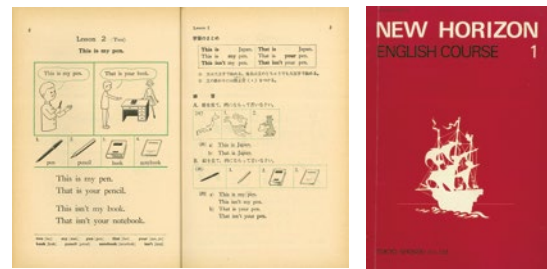
～時代が変わる，育成すべき資質・能力が変わる，  
学び方が変わる，だから，教科書も変わる！～

## 授業で教えなければ学べない教科書から， 教えなくても学び合える教科書へ

時代はいま，情報化，国際化，価値観の多様化，少子化など，劇的な変化のさなかにあります。平成29年3月に告示されました新学習指導要領には，こうした時代の変化を受けて，改善されるべき教科書・教材の在り方を明記する箇所が随所に見られます。子供たちが安心して新時代を生き抜く力を身につけられるように，教科書・教材も大きく変化を遂げるべきであるという，国からの強いメッセージと捉えています。

東京書籍は昭和42年度に中学校英語の教科書の初版本を発行しました。右のように，文法中心で，教師が教え，子供たちは単語と文法を教科書どおりに覚えて学ぶスタイルが当時のスタンダードでした。しかし，平成10年告示の学習指導要領を受けて，「実践的コミュニケーション能力の育成」が謳われるようになるころから，言語の使用場面を重視した教科書作りが徐々に広がっていきます。

今回の学習指導要領の大改訂に基づき，小学校でも外国語活動・外国語科の授業が全面実施になる令和2年から，ご使用いただく教科書を作成するにあたり，「コミュニケーション能力の育成をさらに進化するための教科書の在り方」を模索していたとき，長崎大学の中村典生先生が取り組まれていらっしゃる複式学級指導のご研究に出会いました。これまでの英語教育にはなかった新しい発想による学び方と，そのために教科書はどうあるべきかということの大きなヒントをいただきました。



昭和42年発行当初の中学校1年の教科書



平成9年度版の中学校1年の教科書

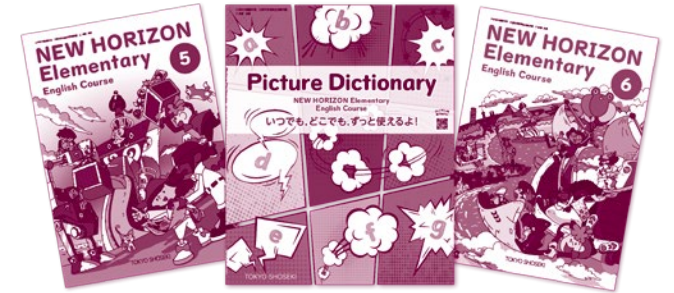


平成28年度版の中学校1年の教科書

令和2年度から使用される  
新刊小学校外国語科検定教科書

## NEW HORIZON Elementary

※中学校の『NEW HORIZON』同様に，この教科書で学んだ子供たちに，水平線を越えて世界とつながりながら，自身の人生を切り拓いてほしいという願いをこめた書名です。



## 「子供ファースト」の視点

複式学級指導の最大の特長は「子供ファースト」であることでした。異学年の子供たちが触れ合うときに生まれる自然な感情を，そのまま「学びに向かう力」に変えていくこと，これによって指導者が教え込まなければならない部分の負担が軽減されていくことの2つの点において，新しい時代の学び方のスタンダードになると考えられます。そのため，教科書の役割は，めざすゴールの姿に向かう活動の手順と最重要の言語材料が記載されていること，また異学年の活動のテーマをゆるやかに共通にしておくことであり，高学年にふさわしい程度の情報量が必要です。



子供たちが自然に学び合う



ずっと学べる英語

### 複式学級指導の「学び合い」の考え方を教科書に！

この冊子は，上記のような考えに基づいて，令和2年度版小学校英語教科書NEW HORIZON Elementaryが，こうした英語教育の今日的課題にどのように向き合っていくかについて，教科書の特徴を活かした指導計画の作り方を紹介するために作成しました。多様な学校現場の実態に応じて，ヒントの一例としてご活用いただけましたら幸いです。

さらに，今後も指導書やWeb ページに，指導案のバリエーションをご用意していきたいと考えています。本書をご一読のうえ，先生方の日ごろのご実践に照らし合わせて，新課程に続く未来の英語教育について，共にシミュレーションをしていただけたらと思います。日本の英語教育の改善に向けて，引き続きさまざまなご教示を賜りたく，重ねてお願い申し上げます。

東京書籍英語編集部



## 中村典生先生にお聞きしました

# 「複式学級のこと」

複式学級と、異学年が学び合う外国語の授業づくりについて、その研究の第一人者である中村典生先生にお伺いしました。

### 基礎知識 その1 複式学級のことを教えてください。

複式学級には2つ以上の学年が編制されています。



中村先生

学校教育法施行規則第41条に「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」という記述があります。つまり、12学級未満の学校が小規模学校ということになります。さらに小規模校の中でも児童生徒が少ないため1つの学年だけでは1学級を編制できない場合、文部科学省が推奨する集団を確保するために、同一学級に2個学年（以上）を「複式学級」として編制することができるのです。

### 複式学級の特性の例

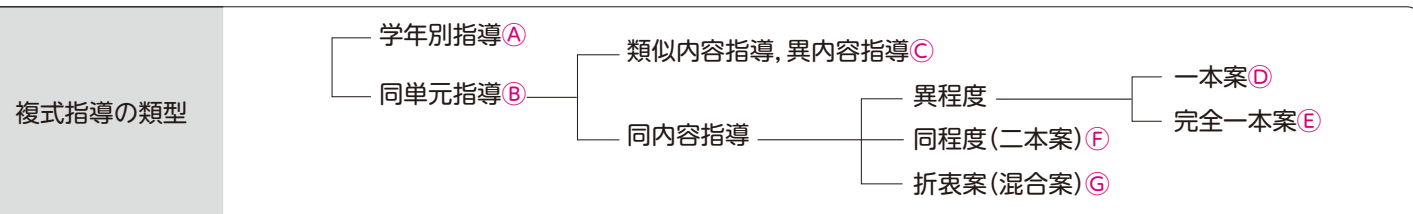
- 2つ以上の学年で1学級を編制  
「完全複式」…1・2年、3・4年、5・6年と、低・中・高学年の隣接学年全てが複式学級の形態を取っている。  
「変則複式」…2・3年、3・5年、2・3・4年のように欠学年があったり3学年が編制されている完全複式以外。
- 最大16人までで編制（1年生を含む場合は最大8人）
- へき地で多く見られる
- 親族など近い立場の児童が多いため、インフォメーション・ギャップが作りにくい
- 上学年と下学年が交流する機会が多い

### 基礎知識 その2 複式学級では、指導の仕方にどのような違いがありますか。

複数学年の児童と一緒に学習できるよう工夫されています。



複式学級における指導は、学年別指導と同単元指導の2つに分けることができます。同単元指導は類似内容指導と同内容指導とに分けられ、同内容指導は更に細分化されます。



Ⓐ学年別指導…上・下学年それぞれ異なる内容を指導します。

Ⓑ同単元指導…2学年以上の学級で同一化した目標によって同時に学習を進めます。

Ⓒ類似内容指導、異内容指導…2学年を同じ単元（教材）によって指導します。

○同内容指導 異程度／Ⓓ一本案……共通するねらいや学習活動を組み合わせて同一の単元を構成し、学年の違いによって学習内容や目標の程度を変え、2年間繰り返して指導します。

／Ⓔ完全一本案…精選した全く同じ内容・同じ目標によって2年分を1年分に圧縮して指導します。

Ⓕ同程度（二本案）……上・下学年の内容をA・B年度それぞれに平均的に配分し、両学年に同じ内容、同じ目標、同じ程度で同時に指導します。

Ⓖ折衷案（混合案）……重要な内容を一本案で2年間繰り返して指導し、理解が容易な内容を二本案でA・B年度に配分して指導します。

## 学び合う外国語の授業づくり いろいろな工夫と取組



全国の複式学級（小規模校を含む）での  
少人数ならではの取組の一部をご紹介します。  
小規模校に限らない普遍的な授業づくりのヒントが満載です。

小中連携の一環として「外国語  
乗り入れ授業」として、月に1  
回中学校の先生が指導に入る

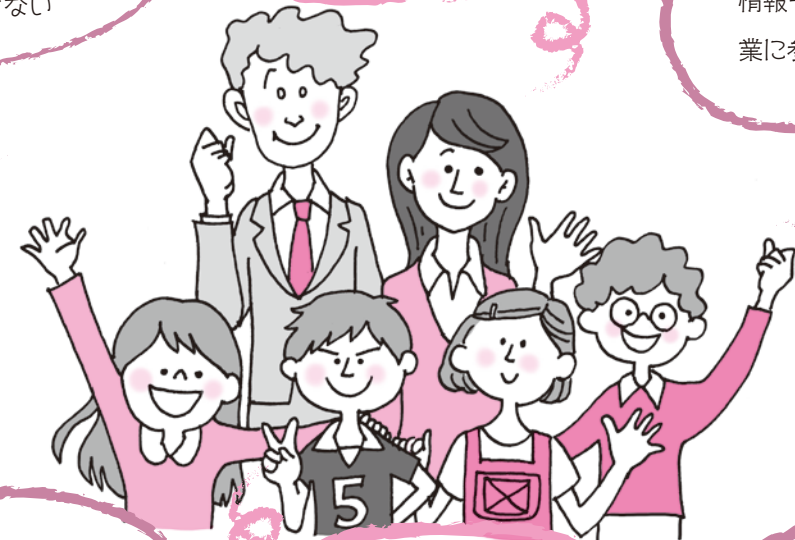
近隣の学校との集合学習や  
ICTを使った遠隔共同学習  
を実施する

子供の話し内容について、さら  
に英語で質問するなど、コミュ  
ニケーションの内容を深める

失敗した時に笑い飛ばせる明る  
い雰囲気を作る  
間違いを否定しすぎない

少人数であるため、子供の  
力に合わせて行う活動を計  
画する

担任以外の先生や町の人などの  
情報も題材にしたり、一緒に授  
業に参加してもらったりする



地域の伝統的なものを題  
材に取り入れる

意図的にインフォメーション・  
ギャップを作る  
(When is your birthday? を  
When is your special day?  
に変更するなど)

ALTと一緒に散歩に出かけ  
て、気になるものを英語で何と  
言うかを聞く

言葉だけでは伝わらないことにつ  
いては、具体物を用いて行うこと  
で活動内容を把握しやすくする

町内の学校で教材を共有化し、  
教材研究の効率化を図る  
また、カリキュラムを揃える

意欲が持てるような身近な、  
または関心の深い場面を設定  
子供たちの生活感覚に近い活動を行う



# 複式学級の特性を活かす

## —島根県雲南市の取組—



中村先生

島根県では複式学級を有する小学校数は全体の約3割を占めています。

島根県雲南市では、平成26～29年度まで文部科学省の外国語教育強化地域拠点事業に指定され、「複式学級」の研究に取り組んできました。複式学級の特性を活かし、小中連携を意識した島根県雲南市での取組の一部をご紹介します！



島根県雲南市立吉田小学校



### 複式学級の特性をメリットに変える授業

#### ①スパイラルな学びを取り入れる

単元配列をA・B年度方式に加えて、目標を上学年と下学年で違う「同学年同内容異程度」を組み合わせることで、繰り返しの中で定着を図っています。

#### ②児童の自己肯定感を高める

異学年ペアを仕組むことで、上学年がロールモデルとなり、下学年にとって良いお手本を示せます。上学年にとっては、頼られる経験から自己有用感・自己肯定感が育ちます。



▲異学年ペアでの教え合い、学び合い  
4年生の「おねえさん」もうれしそう



▲6年生がリードして  
グループ発表をする



▲5年生のスピーチに対して  
6年生児童がアドバイスをする

#### ③楽しく「分かる・できる」を大切に授業づくり

下学年の児童に配慮して、分かりやすい授業にするために「バックワードデザインの授業」「授業展開のスタイルの確立」「一単元を見通す振り返りシート」を大切にしています。

#### 「バックワードデザインの授業」

ゴール  
ふるさとの良さを伝える

←そのために

「何をどのようにして学ぶか」を  
考えて単元と授業をつくる



複式学級と聞くと、「違う学年を同じ時間に教えると手間がかかるのではないか」と戸惑う先生も多いかと思いますが、確かに同じレベルの同じ学年の児童に指導するよりも大変なことは事実ですが、複式学級の特性はメリットに変えることができます。例えば、温かい人間関係の中では自己肯定感が育ちますし、上学年と下学年のコミュニケーション活動により、「人と関わる力」が育っていきます。コミュニケーション活動が重要となる英語の授業では、メリットとして最大限活かされています。

某教材関係の会議で、吉田町が作った独自教材が好事例であるという紹介を受けました。この教材は町内の身近な話題を巧みに取り入れ、子供たちの伝えたい、聞きたいという興味を喚起するととても素敵な教材です。雲南市の外国語教育ではこの子供たちの内から湧き出る思いが大事にされています。



### 外国語の授業での取組

#### どの子にとっても学びやすい授業の工夫

見通しを持ち、安心して学習できるようにするために、授業の流れをある程度パターン化します。児童に授業の流れが定着すると、新年度に担任が変わっても、上学年児童がリードして活動する姿が見られます。

#### 学びの足跡が見える「振り返りシート」

小学校中学年から中学校まで同じものを使用し、なだらかに学びがつながるようにしています。



#### 授業展開のスタイルの確立

##### <1時間の流れ>

- 1.ウォームアップ (挨拶、歌、チャンツ、帯活動等)
- 2.デモ&今日のゴール (単元のゴール、本時のめあての確認)
- 3.アクティビティ (活動)
- 4.学習のまとめ、振り返り

授業の雰囲気づくり、既習内容の活用

指導者のデモンストレーションによるゴール・活動の明確化

めあてを達成するための意味のある活動

単元のゴールまでを見通す自分の学習の歩みを振り返る「一単元一枚」の振り返りシート

#### 1時間のめあてや学習の流れの「見える化」



#### 「外国語」は積み上げの教科 学習経験に差がある児童をどのように指導するのか

#### Small Talkにつながる「中学年から帯活動」

- ・既習を活かして、中学年から話す力・聞く力を育てています。
- ・ゲーム性のあるやり取りを通して文字に見慣れることができるようにします。

絵を見て  
インプット  
アウトプット



児童によっては、  
絵から単語へ

3字程度なら  
いつのまにか  
読めるように

毎時間の帯活動で既習表現や文字を  
繰り返し扱いながら定着を図る

+

やり取り



定着は覚えたときではなく、使ったときに促されます。ある英語表現を聞いたことがある児童とない児童が混在する場合、繰り返し唱えて覚えるよりも、本当に言いたいことを聞いたり言ったりするような、実際に英語を使う体験をたくさんさせることで定着を促していきましょう。

中村典生 (なかむら・のりお)  
筑波大学大学院教育研究科英語教育コース修了、つくば国際大学助手、岐阜市立女子短期大学准教授、北海道教育大学教授を経て、現在、長崎大学教育学部教授・副学長。『コア・カリキュラム対応 小・中学校で英語を教えるための必携テキスト』監修 (東京書籍, 2019/2), 『わかりやすい英語教育法 改訂版 小中高での実践的指導』共著 (三修社, 2013/3) など、著書・論文多数。文科省「小学校の新たな外国語教育における補助教材の検証及び新教材の開発に関する検討委員会」委員等を歴任。



# みんなが英語を好きになる!

—豊かな学びが未来を拓く—

NEW HORIZON Elementary のコンセプト

## NEW HORIZON Elementary の,

### 異学年が 学び合うための 3大特色

① 5・6年で使い続ける別冊 Picture Dictionary があります!

新しい小学校英語の教科書『NEW HORIZON Elementary』は、公教育で英語を学ぶさまざまな学習環境にある全ての児童が、等しく、楽しく、英語を学べることを願って、次のような分冊構成で編集しました。



本体 (大判 A4判サイズ)

別冊 Picture Dictionary  
(小判 AB判サイズ)

本体 (大判 A4判サイズ)

#### 別冊でできること



単語を4線の上に正しく書き写すときなどに

別冊は  
2年間  
使用します

小学校で学びたい語 (600~700語程度) や表現が収録されています。  
● 5年生に供給され、2年間同一の冊子を「自分自身の学びの履歴」として使い続けることができます。  
● 初年度には、6年生にも供給されます。

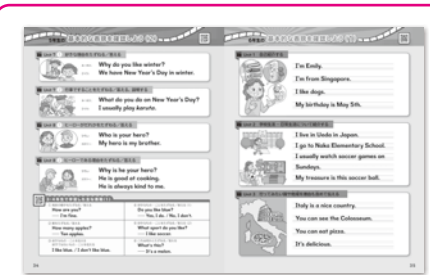
別冊は異学年の子供たちにとって「共通のテキスト」であり、学び合いのための大きな役割を担っています。



ジャンル別に同じ語彙を  
学び合えます。(pp.22-23)

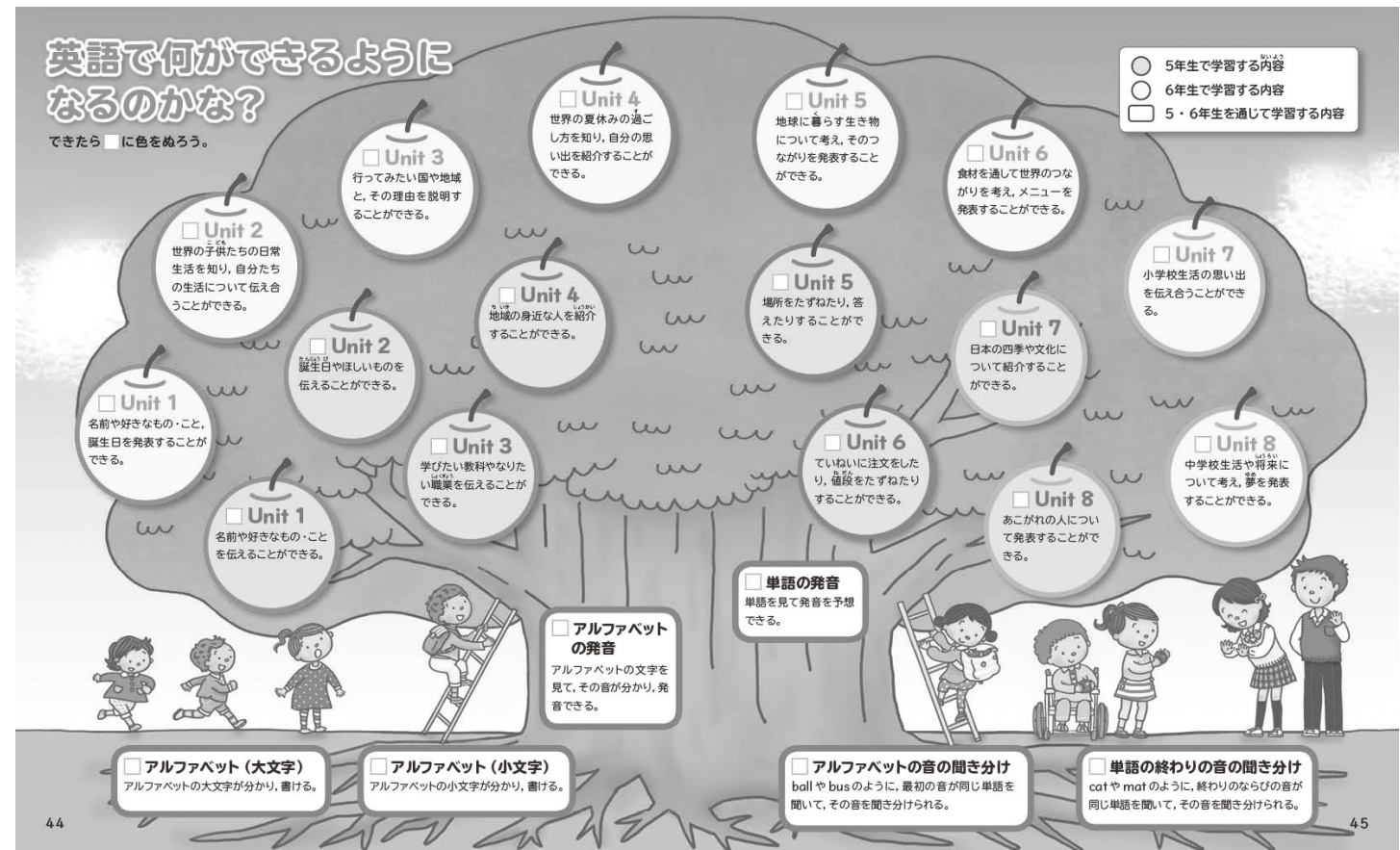


対話を続けるための同じ表現集を  
持たせられます。(表紙裏)



相手の学年が学ぶことを分かり  
合えます。(pp.34-35)

- ・別冊には、小学校3~6年で扱う600~700語や表現がわずか50ページにコンパクトにまとまっています。どの学年でも、中学生になっても、高校生になっても、大人になっても、いつでもどこでもずっと使えます。
- ・各Unitの冒頭 Our Goal をもとに作った CAN-DO Tree で「できるようになること」が確かめられます。



別冊 Picture Dictionary pp.44-45の  
CAN-DO Tree

2学年で使い続ける別冊 Picture Dictionary は、異学年の児童全員が共通で持つテキストになるので、学び合いに最適です。

② 異学年の学び合いに適したテーマ別ロードマップがあります!

#### 3. 一年をふり返って

#### 2. 地域紹介

#### 1. 自己紹介

5年  
「自分」のことを  
紹介しよう  
(Unit 1~3)

6年  
「世界の国々」を知り、  
紹介し合おう  
(Unit 1~3)

5年  
「地域」のことを  
紹介しよう  
(Unit 4~6)

6年  
「世界と日本」の  
つながりを考えよう  
(Unit 4~6)

5年  
「日本」のことを  
紹介しよう  
(Unit 7~8)

6年  
「中学校への扉」  
を開けよう  
(Unit 7~8)

※6つのまとまりを異学年で縦割りに重ね合わせて、複式学級用の年間指導計画が作りやすくなっています。

③ 3分冊全体で、約200か所のQRコードがあります!

※右のQRコード、または下記のURLから、ご参照いただけます。

[HTTPS://TSHO.JP/02P/E5/DL/](https://tsho.jp/02p/e5/dl/)



※デジタルの環境がなくても、教師用指導書や児童用教材の音声CDをご使用いただけます。



# NEW HORIZON Elementary の 教科書紙面構成

## 5・6年生共通の1Unit 4Part 構成

共通の場面 (例): 自己紹介

### 導入



「聞く」

音と映像で重要表現に出会います  
インプットパート (目標設定)  
シンガポールからの転校生エミリー・スミスのお話

### 展開



「話す」

ペア・ワーク、グループ・ワークで  
重要表現に慣れます  
練習パート  
名前の綴りと好きなもの・こと

### 単元別まとめ



「技能統合」

2年間で22種類のゴールの姿を評価します。

巻末コミュニケーションカードで、名刺交換をします  
思いを「かたち」にして「楽しむ」  
アウトプットパート (ゴールの姿の評価)

### オプション



(カリキュラム・マネジメント対応)

主体的・対話的に深く学び続けるために  
他教科関連、国際理解を明示的に

※ 2～3のUnitが積み重なる

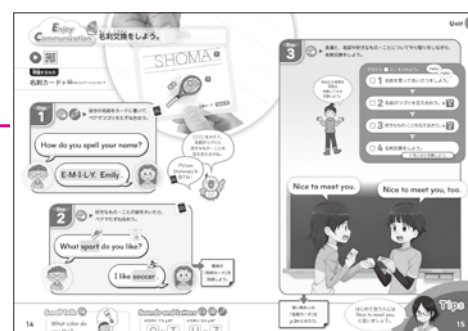
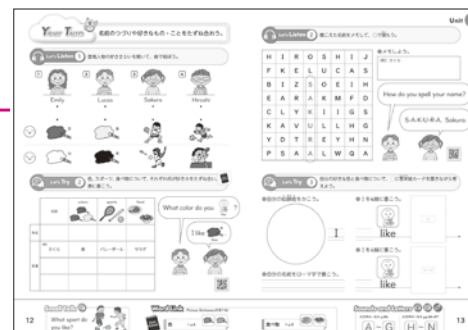
### テーマ別まとめ



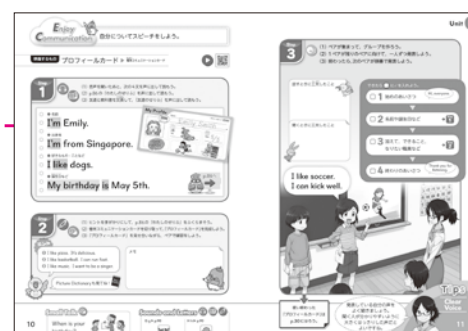
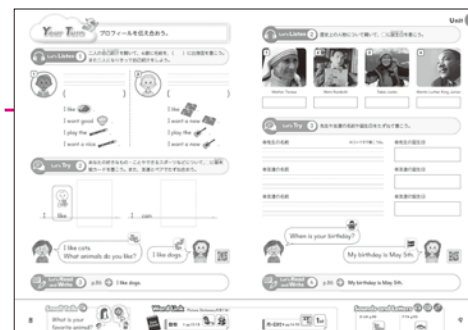
「技能統合」

自己紹介、地域紹介などのテーマで、Unitで学んだことを振り返り、語彙や表現を組み合わせ使いながら、伝える力を確かめます。  
思考・判断・表現力を重点的に見取る力だめしパート

## 5年 学年テーマは日本



## 6年 学年テーマは世界



4見開き、2学年、要素が定位置に置かれる紙面は学びやすく教えやすくなっています。スモールステップで言語材料が積み上げられていきます。

### 異学年学級を指導するポイント

#### 【5年生が6年生と学ぶときのメリット】

「6年生をモデルとして活動できる」

●6年生にサポートしてもらえる安心感があります。  
5年生が6年生と一緒に学習することで、活動の見通しを持ちやすく、どのように学習するかを把握しやすくなります。5年生にとって、初めて出会う教科の学習でも、6年生のサポートのもとで安心して取り組むことができます。

●学習モデルがすぐそばにいたので、質の高い言語活動が可能になります。

言語活動のモデルスピーチなどで6年生を活用することで、5年生は常に6年生を目標として具体的なイメージを捉えて活動できます。6年生の多様な表現方法を学ぶことができます。5年生のみの集団では行いづらかったことが可能になります。6年生とのペアやグループ活動を仕組むことで、少し難しい内容にも挑戦することができるようになります。

#### 【6年生が5年生と学ぶときのメリット】

「学び直して確実な定着を図ることができる」

●6年生にとっては、5年生に教えることで自分自身にとっても再び学べる機会となります。

共通単元の学習では、1年目の学習では曖昧だったことが、2年目の学習で理解することができます。

「自己の成長を感じ、自己有用感が育つ」

●6年生は自分が5年生だったときの自分の姿を重ね合わせながら、5年生と一緒に活動します。5年生に対し、懇切丁寧に、しかも辛抱強く指導することで、思いやりと寛容の精神を持って接することができるようになります。「ちょっと前までは自分もこうだったな」と振り返ることにより、自己の成長に気づくことができるという良さもあります。また、頼られる経験を積み重ねることで、自己有用感が育ちます。

#### 【留意点】

- 5・6年生でペアになるように、席順や形態を工夫します。
- 互いにアドバイスし合う機会を意図的に持つようにします。
- 6年生にとっては、2年目の学習における成長が感じられるように配慮します。成果物やスピーチの動画などをとっておいて比べてみるなど、同じ学習内容でも5年生時と6年生時での言語活動へのかかわり方に差を持たせ、6年生には少し高度なねらいを設定します。



# 複式学級の一年間

複式学級では、5年生になるときに（令和2年度は6年生も）、5年生用・6年生用・別冊の3冊の教科書を受け取ります。3冊の教科書で2年間を学びます。

## 1 学期

2冊の教科書の内容を組み合わせ1つの単元にします。  
(指導計画のサンプルをp.18以降に掲載していますのでご参照ください)

**【同単元同内容同程度】**  
A年度1学期は6年生の教材を中心に扱います。そのため、語彙は5年生の児童の実態を踏まえて選択するなど配慮します。

A 年度			B 年度		
学期	単元名	時数	学期	単元名	時数
A・B 年度共通単元名			A・B 年度共通単元名		
1 学期	○単元名 (使用教材) ①【Hello, friends.】(5年 Unit 1) ○単元名 (使用教材) ①【This is me!】(6年 Unit 1)	8	1 学期	○単元名 (使用教材) ②【When is your birthday?】(5年 Unit 2)	8
1 学期	○単元名 (使用教材) ②【How is your school life?】(6年 Unit 2)	8	1 学期	○単元名 (使用教材) ③【What do you want to study?】(5年 Unit 3)	8
1 学期	○単元名 (使用教材) ③【Let's go to Italy.】(6年 Unit 3)	8	1 学期	◎ Check Your Steps 1 【外国の人に自己紹介をしよう】(5年)	2
1 学期	◎ Check Your Steps 1 【外国の人にメッセージを伝えよう】(6年)	2	1 学期	◎ Check Your Steps 1	2
1 学期合計時数			1 学期合計時数		
26			26		

**【同単元同内容異程度】**  
自己紹介の仕方は、第5学年は5年教材、第6学年は6年教材を使って行い、異程度で目標等を設定します。

**【同単元同内容同程度】**  
B年度1学期は5年生の教材を中心に扱います。

色の部分は6年生の教材

## 複式学級で学ぶ子供たちの一年

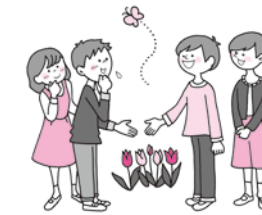
(中学年・高学年で複式学級を経験している場合・3学期制の学校)

### ● 4月 新年度のスタート

毎年クラス替えのある複式学級。中学年のときに一緒に学んだメンバーで1年ぶりに共に学びます。

5年生は、これから始まる外国語科の学習に不安と期待が入り混じってドキドキワクワク…。でも大丈夫。5年生のそばには常にモデルとなる6年生の姿があるのです。

6年生は複式学級上学年として5年生のお手本になろうと気合いいっぱい。気持ちも新たに、再び一緒に学ぶ一年間が始まります。



## 2 学期

学ぶ難易度を平均化するために、5年と6年の内容を入れ替えています。

**【同単元同内容同程度】**  
A年度2学期は5年生の教材を中心に扱います。

A 年度			B 年度		
学期	単元名	時数	学期	単元名	時数
A・B 年度共通単元名			A・B 年度共通単元名		
2 学期	○単元名 (使用教材) ④【Summer Vacations in the World】(6年 Unit 4)	4	2 学期	○単元名 (使用教材) ⑤【He can bake bread well.】(5年 Unit 4)	4
2 学期	○単元名 (使用教材) ⑥【Where is the post office?】(5年 Unit 5)	8	2 学期	○単元名 (使用教材) ⑥【We all live on the Earth.】(6年 Unit 5)	8
2 学期	○単元名 (使用教材) ⑦【What would you like?】(5年 Unit 6)	8	2 学期	○単元名 (使用教材) ⑦【Let's think about our food.】(6年 Unit 6)	8
2 学期	◎ Check Your Steps 2	2	2 学期	◎ Check Your Steps 3	2
2 学期	【地域のおすそめを紹介しよう】(5年)	2	2 学期	【世界と日本のつながりを紹介しよう】(6年)	2
2 学期合計時数			2 学期合計時数		
26			26		

**【同単元同内容異程度】**  
2学期前半は、「過去形」「三人称」を2年間をかけて繰り返し扱います。

**【同単元同内容同程度】**  
B年度2学期は6年生の教材を中心に扱います。そのため、語彙は5年生の児童の実態を踏まえて選択するなど配慮をします。



### ● 9月 夏休み明け

長い夏休みが終わりました。子供たちはそれぞれの夏休みの思い出話で盛り上がっています。夏休み明けの初めの単元では、過去の表現を用いて夏休みの思い出を伝え合います。

6年生は5年生のときにも同じ学習をしています。5年生にとっての学習モデルの役割もありますが、2年間で5年生と一緒に「学び直す」こともできるのです。

一方、5年生にとっては、6年生の教材で学習することは少し難しいかもしれませんが、5年生は6年生をお手本に、6年生からの励ましや支えの中で活動することができるのです。初めて経験することでも、支えてもらっているという安心感の中で、意欲的に取り組むことができるようになります。

## 3 学期

3学期は5・6年2冊の内容を1単元の時数を短くして2年間繰り返し学びます。それにより、それぞれの学年のまとめを確実に行うことができます。

**【学年別の内容による指導】**  
3学期後半の単元は、各学年で別の教材を用いて学習します。帯活動やふり返りの時間、単元末の発表などでは、5・6年生が一緒に活動することができるように配慮します。

A・B 年度共通					
学期	単元名	時数	学期	単元名	時数
A・B 年度共通単元名					
3 学期	○単元名 (使用教材) ⑧【Welcome to Japan.】(5年 Unit 7)	4	3 学期	○単元名 (使用教材) ⑨【My Best Memory】(6年 Unit 7)	4
3 学期	○単元名 (使用教材) ⑨【My Best Memory】(6年 Unit 7)	4	3 学期	○単元名 (使用教材) ⑩【Who is your hero?】(5年 Unit 8)	4
3 学期	○単元名 (使用教材) ⑩【Who is your hero?】(5年 Unit 8)	4	3 学期	○単元名 (使用教材) ⑪【My Future, My Dream】(6年 Unit 8)	4
3 学期	○単元名 (使用教材) ⑪【My Future, My Dream】(6年 Unit 8)	4	3 学期	◎ Check Your Steps 3	2
3 学期	◎ Check Your Steps 3	2	3 学期	◎ Check Your Steps 3	2
3 学期	【日本のすてきを紹介しよう】	2	3 学期	【寄せ書きのメッセージを伝えよう】	2
3 学期	① 英語の先生に「日本のすてき」を紹介することを想定し、人や行事、食べ物などから伝えたいことを選び、紹介ガイドの1ページを作り、スピーチをする。 ② クラス全員の日本紹介ガイドのページを集めてガイドブックにする。	2	3 学期	① 卒業記念としてクラスみんなに伝えたいメッセージを寄せ書きに書く。 ② メッセージを紹介するスピーチをする。	2
3 学期合計時数			3 学期合計時数		
18			18		
年間総時数			年間総時数		
70			70		

**【同単元同内容異程度】**  
・3学期の単元は、2年間をかけて繰り返し扱います  
・⑨⑪は6年生を中心に指導します。

6年生にとって小学校生活のまとめの単元であることから、単元末のスピーチなどは6年生を中心に扱います。

単元末の言語活動を、5年生時は「6年生を紹介する」、6年生時は「自分のヒーローを紹介する」などとし、6年生が前年度よりさまざまな語彙や表現に触れることができるようになります。

6年生にとって中学校へのつながりの単元であることから、単元末のスピーチなどは6年生を中心に扱います。



### ● 3 学期

6年生は卒業を意識し始め、5年生と少し距離ができ始めます。いまままで一緒だった行事も別々になることも増え、ナーバスになる児童も出てきます。5年生は6年生を送る会の企画・運営や卒業式の準備などで、学校のリーダーとしての自覚を持ち、5年生同士の団結力を高めます。

3学期の学習では、6年生が小学校の思い出をふり振り返り、中学校や将来の夢への思いを伝え合います。

5年生は、6年生の思いに心を傾けて聴くことで、一年間引っ張ってくれた6年生への感謝と憧れの思いを抱くことでしょう。自分たちがしてもらったように、5年生は6年生をモデルとして最高学年としての自覚を高めます。

そうして、複式学級の良さは引き継がれていくのです。



高学年になりたての新学期 5年生 Unit 1

スパイラルに構成されて、具体的にどのような言語材料が中学年から高学年へと橋渡しされるのか見てみましょう。

5・6年生は3・4年生時に文部科学省発行の『Let's Try! 1・2』を用いて外国語活動を行った児童たちです。

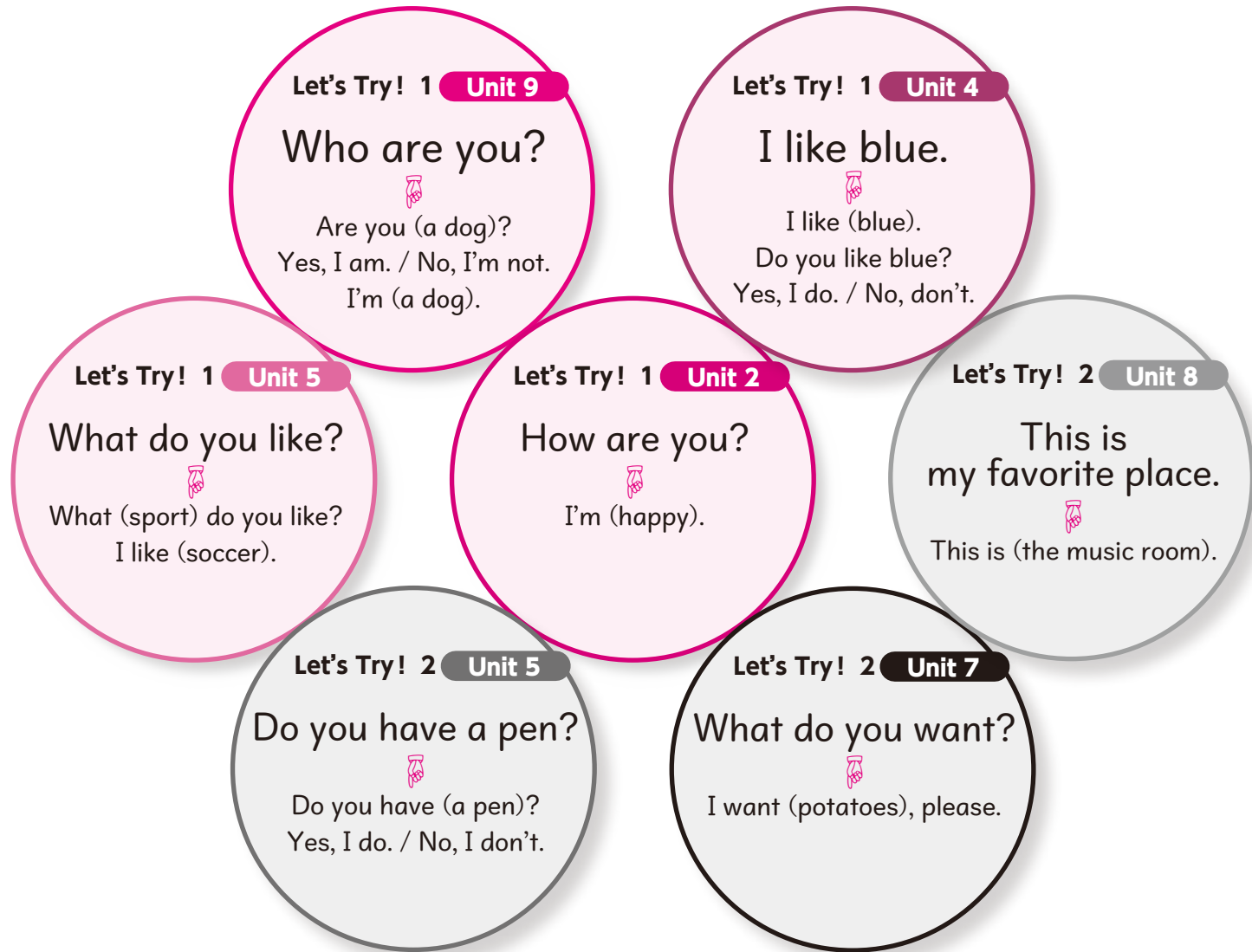
授業はそのことを前提に行われます。

NEW HORIZON Elementary では、中学年から高学年への橋渡しを重視して、各 Unit の導入部分である Starting Out の音声スクリプトを工夫しました。

5年 Unit 1 Hello, friends. の Starting Out の音声スクリプトの例を挙げてみます。

全体を通して、3・4年生の重要表現を網羅してふり返らせ、スパイラルな学びによるインプットを大切にしています。

3・4年生時の学び 重要表現



5年 Listening Script

易しいスクリプトには、3・4年生の『Let's Try! 1・2』で出てきた重要表現が何度も出てきます。

自然と復習ができ、これまでに学んだことを活かすことができます。



Unit 1 p.10



**Unit 1 Hello, friends.**  
Our Goal: 名前や好きなもの・ことを伝えよう。  
Starting Out: 英語を聞いて、場面の中に□に番号を書こう。  
Let's Watch and Think: 次の小学生について分かったことを空欄に書こう。

**Unit 2**  
**Unit 4**  
2. Mr. Tanaka: Good morning, class.  
Class: Good morning.  
Mr. Tanaka: How are you today?  
Class: Fine, thank you.  
Mr. Tanaka: OK. Let's start. This is our new English teacher, Lisa Green.  
Ms. Green: Hello, everyone. My name is Lisa Green. I'm from America. I like music. I play the guitar. I don't play the piano.

**Unit 9**  
1. Sakura: Good morning.  
Emily: Good morning.  
Sakura: Are you Emily?  
Emily: Yes, I am. I'm Emily.  
Sakura: I'm Sakura.  
Hiroshi: I'm Hiroshi.  
Lucas: I'm Lucas. I'm from Brazil.  
Sakura, Hiroshi, Lucas: Nice to meet you.  
Emily: Nice to meet you, too.

**Unit 5**  
3. Mr. Tanaka: This is your new classmate, Emily.  
Emily: Hello, everyone. I'm Emily Smith.  
Mr. Tanaka: How do you spell your name?  
Emily: E-M-I-L-Y. Emily. I'm from Singapore.  
Ms. Green: What sport do you like?  
Emily: I like soccer. It's exciting.

**Unit 4**  
**Unit 5**  
**Unit 5**  
4. Mr. Tanaka: Let's have lunch.  
Lucas: Umm! Oishii! I like rice.  
Hiroshi: How do you say oishii in English?  
Ms. Green: We say "delicious."

**Unit 8**  
**Unit 5**  
**Unit 7**  
5. Hiroshi: This is our library.  
Emily: Oh, do you have English books, too?  
Hiroshi: Yes, we do.  
Emily: I want a library card.  
Hiroshi: You can get a library card here.  
Emily: Thank you.

本書 pp.18-23 には、複式学級指導の際の留意点を付記した NEW HORIZON Elementary 5・6 Unit 1 の指導案(本書p.2の◎折衷案)を掲載しています。授業計画作成の際にお役立てください。



## 卒業直前 6年生 Unit 8

スパイラルに構成された教科書の特色を活かして、具体的にどのような言語材料が高学年から中学校へと橋渡しされるのか見てみましょう。

6年生最後の Unit 8 My Future, My Dream には、高学年から中学校への橋渡しを重視して、Unit の導入部分である Starting Out の音声スクリプトを小学6年生と中学1年生の英語交流授業を言語活動の場面として提示しています。

実際のスクリプト(下記)と音声・映像(QRコード)をご覧ください。



※色文字は中学校で文法的に学ぶ動名詞や過去分詞

Unit 8 p.72 Starting Out

- Yukari:** Hello! Welcome to Wakaba Junior High School! I'm Yukari.

**Takuya:** Hi, I'm Takuya. Thank you for **visiting** our school today. We have many events at our school; the entrance ceremony, the school trip, the music festival, **sports day**, and so on. My favorite is sports day. I'm good at **running**.

**Yukari:** We have big tests, too. We study hard. In junior high school, English teachers **teach** English. And science teachers **teach** science. Please have a great time from April!

**Hiroshi:** Wow! That's interesting. Your English is wonderful! I'm very **surprised**. I want to go to Wakaba Junior High School soon. I want to study English hard. I want to be like you.
- Takuya:** We have many teams and clubs in our school; soccer, tennis, baseball, **kendo**, and so on. I'm on the basketball team. I like basketball. We have twenty-six players on our team. We practice every day from Monday to Friday.

**Yukari:** We always wear our uniforms to school. We have a summer uniform and a winter uniform.

**Sakura:** I want to join the **volleyball team**. I want to be a volleyball player. I want to enjoy sports day, too. I'm good at **running**. I like the summer uniform. It's cool. I can't wait until April. See you soon!

**Yukari:** Please make good friends here and enjoy your school life. We all want to help you. Thank you again for **coming** to our school. We had a great time with you.
- Emily:** Hello, everyone. I'm Emily Smith. What do you want to do in junior high school? I want to enjoy the music festival. I like **singing**. I'm good at **singing**. I want to be a baker in the future. I want to bake bread well like my father. Thank you.
- Lucas:** Hello, everyone. I'm Lucas. In junior high school, I want to study science. I want to be a scientist. That's my dream. I like both of my countries, Japan and Brazil. I want to help the Earth. English is very useful all over the world, so I want to study English, too. **Studying in junior high school** is not easy. But I want to try.

**Ms. Green:** That's a nice dream. **Good luck.**



NEW HORIZON Elementary 6 p.72

重要表現は繰り返し登場します。

ルーカスさんの発言には外国語の見方・考え方が働いています。

締めは、3年生から6年生まで4年間慣れ親しんだ褒め言葉で！

この Unit を学んだあと、6年生は卒業して中学生になりました。それから約1年後…

**新入生1日体験学習** 卒業を間近に控えた小学6年生と、約1年前に卒業した中学1年生との英語交流会です。教科書6年 p.72 のイラストの姿が現実になっています。

### ①自己紹介



Hello. My name is ~.



### ②校舎案内

This is the music room.



先輩としてがんばらなきゃ！

ここが音楽室か～。

### ③ビデオを見ながら中学校生活の様子を紹介

I'm good at running.

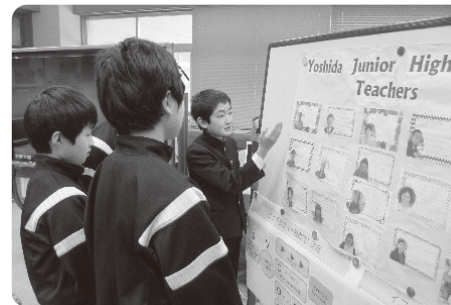
小学校最後の Unit 8 の表現を中学校でも伝えています。

中学生ってすごいな。



こんなに英語を上手に話せるようになっているんだ～。

### ④部活動、学校行事、中学校の先生を紹介



#### 中学校の先生からメッセージ

小学校の複式学級で学習してきた児童たちは、クラス内に学年差があるため、「相手に伝わるためにはどうしたらよいか」、「もっと分かりやすくするためにはどうしたらよいか」など、常に相手のことを考えながら活動しています。英語のコミュニケーションでは相手意識はとても大切な視点です。小学校の時からこの相手意識が育っている児童たちは中学校でも自分の思いや考えなどを豊かに表現しています。





複式学級指導案づくりに挑戦!

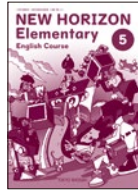
●完全複式バージョン (本書p.2⑥)

『NEW HORIZON Elementary 5・6』は、異学年で学び合う良さを生かした授業が実現するように、縦割りでのテーマをゆるやかに関連させて編集しています。5年生用と6年生用の、同時期の指導案を使って、2学年共通の指導案(※A年度の例)をそれぞれのUnit 1(4月配当)の1/8時間目で作ってみましょう。

手順: Step 1

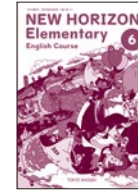
各学年の指導案同時数のものを見比べて、同じところにマーカーで色を付けましょう。

5年生用 指導案 (指導書研究編収載)



指導計画			
Unit 1 Hello, friends! (pp.10-11)		1/8時間	
<b>目標</b>	自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解する。		
<b>準備</b>	指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー(PD)、ワークシート(WS)、教師用絵カード		
<b>めあて</b>	自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解しよう。		
時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 17分	挨拶をする。	既習の体調の表現。天気について聞く。 How are you today? How is the weather?	
	[Hi, English] p.3の下部の空欄に記入し、発表する。	pp.2-3の写真を説明し、p.3の右下に英語を使って将来したいことを記入させる。児童に発表させる。	
	[Let's Sing] Nice to meet you. Good (morning, afternoon, evening)を練習する。 曲を聞いて歌えるところを歌う。	歌う前にPDのp.14「1日の時間」(morning, afternoon, evening, night)を練習する。 一度曲を流し、内容について質問する。 曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	指導者用デジタルブック
	[Let's Chant] How do you spell your name? What sport do you like? チャンツを聞き歌えるところを歌う。	一度チャンツを流し、内容について質問する。 チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	
[Small Talk] 先生からの問いに My name is ~、または I'm ~、と答える。	What is your name? と児童にたずねる。 My name is ~、と I'm ~、との答え方を指導する。		
展開 20分	[Word Link] PDのp.7(スポーツ) スポーツの単語を復唱する。	音声を使って、スポーツの単語を復唱させる。	PD
	[Let's Try ③] ボインティングゲーム 言われたPDの単語に触る。 指導者の指示絵カードの単語を言う。 スポーツのクイズの質問に答える。	指導者が言ったPDの単語に触らせる。 指導者が出した絵カードの単語を言う。 スポーツに関するクイズをする。 (例) Tell me the sports that use a ball.	教師用絵カード
	[Starting Out] A-Cの音声を聞いて、本体の□に1-3の順番を書く。 WSを使う場合 WS1-2に答えを記入する。 答え合わせをする。 Bをもう一度聞く。	WSを配りA-Cの音声を聞かせ、1-2の答えを記入させる。 A-Cの音声をともに本体の□に1-3の順番を記入させ、答え合わせをする。 必要であれば一つの場面を複数回聞かせてもよい。 答え合わせをする。 Bの音声をもう一度流す。 【評価】○主(自己紹介や好きなもの・ことについてのやり取りを主体的に聞き取り、理解しようとしている)	指導者用デジタルブック WS(オプション)
	[Sounds and Letters] 文字カードを机の上に並べる。 指導者が言う文字のカードを見せる。 指導者が指示カードの名前を言う。	アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 巻末の文字カードを切り離して机の上に並べる。 指導者は文字の名前を言い、児童にそのカードを指導者に見せるようにする。 指導者はカードを見せ、児童に名前を言わせる。 【評価】△知(大文字を読むことができる)	教師用絵カード
まとめ 3分	挨拶をする。	児童のよかったところをほめる。 挨拶をする。	

6年生用 指導案 (指導書研究編収載)



指導計画			
Unit 1 This is me! (pp.6-7)		1/8時間	
<b>目標</b>	名前や好きなもの・こと、誕生日などのやり取りについて、おおよその内容を理解する。		
<b>準備</b>	指導者用デジタルブック、ワークシート(WS)、教師用絵カード		
<b>めあて</b>	名前や好きなもの・こと、誕生日などのやり取りについて、おおよその内容を理解しよう。		
時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 15分	挨拶をする。 英語の問いに答える。	既習表現を使い、体調、天気、日付、今日の教科などについて英語でやり取りをする。	
	[Let's Sing] Hello, everyone. 曲を聞いて歌えるところを歌う。	指導者の指し示しを聞き、自分たちも意見を述べる。 これから1年間の英語の授業の抱負を児童と分かち合い、英語学習の動機を高める。	
	[Let's Chant] Where are you from? チャンツを聞き歌えるところを歌う。	一度曲を流し、さくらとLucasについて出身地、言語と誕生日を確認する。 曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	指導者用デジタルブック
	[Small Talk] 指導者からの問いに I want to study ~、と答える。 友達とペアになり、たずね合う。	一度チャンツを流し、内容について質問する。 チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。 What language do you want to study? と児童にたずねる。 PDのp.16(国)を参照させてもよい。 ペア活動を通じてたずね合うように指導する。	PD
展開 22分	[Word Link] PDのpp.42-43(アルファベット) アルファベットの名前を復唱する。	アルファベットチャートで文字の名前を確認し、復唱させる。	PD
	[Let's Try ①] ボインティングゲーム 言われたPDの文字に触る。 指導者の指示絵カードの単語を言う。 クイズの質問に答える。	指導者が名前を言ったアルファベットに触らせる。 指導者が出した絵カードの単語を言う。 アルファベットに関するクイズをする。 (例) Do you know my initials?	教師用絵カード
	[Starting Out] A-Cの音声を聞いて、本体の□に1-3の順番を書く。 WSを使う場合 WS1-3の答えを記入する。 答え合わせをする。 Cをもう一度聞く。	A-Cの音声をともに本体の□に1-3の順番を記入させ、答え合わせをする。 必要であれば、一つの場面を複数回聞かせてもよい。 WSを配りA-Cの音声を聞かせ、1-3の答えを記入させ、答え合わせをする。 Cの音声をもう一度流す。 【評価】○主(名前や好きなもの・こと、誕生日などについての発表を主体的に聞き取り、理解しようとしている)	指導者用デジタルブック WS(オプション)
	[Let's Read and Write] モデル文が読まれるのを聞いて、声に出して読む。 p.86に自分のことを書く。	モデル文の音声を流した上で、モデル文を見ながら声に出して読ませる。 p.86に自分のことを書かせる。 【評価】△知(自分が発表したい文を、例を参考に書き写している)	指導者用デジタルブック
文字指導 5分	[Sounds and Letters] B b の練習問題をして、文字を書く。	p.90のBbの音の練習問題させ、文字を書かせる。 Sound tennis や消しゴムゲームを行う。 【評価】△知(B b の音に慣れ親しみ、大文字と小文字を書いている)	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	挨拶をする。	児童のよかったところをほめる。 挨拶をする。	

異学年の指導書指導案を見比べて、同じ内容の指示を手早く見つけるのがコツです。

活動の流れが自然になるように工夫しましょう。

**[Let's Chant]**  
How do you spell your name?  
What sport do you like?  
チャンツを聞き歌えるところを歌う。

- 一度チャンツを流し、内容について質問する。
- チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。

✂  
コピーをとって切って並べ替えてみましょう。

**[Small Talk]**

- 先生からの問いに My name is ~、または I'm ~、と答える。

- What is your name? と児童にたずねる。
- My name is ~、と I'm ~、との答え方を指導する。

5年生をメインにした計画のときには6年生が、6年生をメインにした計画のときには5年生が、どのような表現や語彙を使える状況なのか、常に配慮することがポイントです。別冊 Picture Dictionary の pp.32-37 は参考にあります。

手順: Step 3

時間数が45分授業、または短時間授業に合うように、適切に時間調整をしましょう。

時間が足りなくなりそうなときは、教科書に掲載されている全ての活動を行う必要はありません。Enjoy Communication や Check Your Steps のゴールの姿をめざすのに必要な活動を、別冊 Picture Dictionary を使いながら、無理なく楽しく進めましょう。

できあがり!

次のページから、実際の完全複式学級用指導案例をご参照いただけます。

※色が付いている部分は6年生の教材です。  
※オプションパート(カリキュラム・マネジメント対応)の7・8時間目 Over the Horizon は割愛しています。



時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 17分	・挨拶をする。	・既習の体調の表現, 天気について聞く。 How are you today? How is the weather?	
	<b>[Hi, English!]</b> ・p.3の下部の空欄に記入し, 発表する。	・pp.2-3の写真を説明し, p.3の右下に英語を使って将来したいことを記入させる。児童に発表させる。	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. ・Good (morning, afternoon, evening)を練習する。 ・曲を聞いて歌えるところを歌う。	・歌う前にPDのp.14「一日の時間」(morning, afternoon, evening, night)を練習する。 ・一度曲を流し, 内容について質問する。 ・曲を再度流し, 歌えるところを歌うように励ます。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Chant]</b> How do you spell your name? What sport do you like? ・チャンツを聞き歌えるところを歌う。	・一度チャンツを流し, 内容について質問する。 ・チャンツを再度流し, 歌えるところを歌うように励ます。	
	<b>[Small Talk]</b> ・先生からの問いに My name is ~. または I'm ~. と答える。	・What is your name? と児童にたずねる。 ・My name is ~. と I'm ~. との答え方を指導する。	
展開 23分	<b>[Word Link]</b> PDのp.7(スポーツ) ・スポーツの単語を復唱させる。	・音声を使って, スポーツの単語を復唱させる。	PD 教師用絵カード
	<b>[Let's Try ①]</b> ポインティングゲーム ・言われたPDの単語に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。	・指導者が言ったPDの単語に触らせる。 ・指導者が出した絵カードの単語を言わせる。 ▶ 「指導者役を6年生が行う」など	PD 教師用絵カード
	<b>[Starting Out]</b> ・A~Cの音声を聞いて, 本体の□に1~3の順番を書く。 ・答え合わせをする。	・A~Cの音声をもとに本体の□に1~3の順番を記入させ, 答え合わせをする。	
	<b>[Word Link]</b> PDのpp.42-43(アルファベット) ・アルファベットの名前を復唱させる。	・アルファベットチャートで文字の名前を確認し, 復唱させる。	PD 教師用絵カード
	<b>[Let's Try ①]</b> ポインティングゲーム ・言われたPDの文字に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。	・指導者が名前を言ったアルファベットに触らせる。 ・指導者が出した絵カードの単語を言わせる。	教師用絵カード
展開 23分	<b>[Starting Out]</b> ・A~Cの音声を聞いて, 本体の□に1~3の順番を書く。 ・答え合わせをする。	・A~Cの音声をもとに本体の□に1~3の順番を記入させ, 答え合わせをする。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Read and Write ①]</b> ・モデル文が読まれるのを聞いて, 声に出して読む。 ・p.86に自分のことを書く。	・モデル文の音声を流した上で, モデル文を見ながら声に出して読ませる。 ・p.86に自分のことを書かせる。	指導者用 デジタルブック
まとめ 5分	・まとめ ふり返り あいさつ	・本時の学習をまとめ, 次時につながるふり返りをする。	ふり返りシート

色の部分は  
6年生の教材

**[Point]**  
高学年のスタートは5年生の内容を中心に行う。5年生が6年生の教科書から始めると「英語が急に難しくなった」という苦手意識を抱かせてしまう。6年生の内容を扱う際は, チャンツや歌などを通して繰り返しを大切にしながら少しずつ慣れ親しむことができるようにする。

5年生の内容を既に学習している6年生を指導者役とするなど, 工夫をする。  
※PDは, 別冊Picture Dictionary

5年生が6年生の内容を学習する際は, 6年生とのペア活動を設定する。

※指導者用デジタルブックは「We Can!!」同様に指導書に同梱されている。

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	・挨拶をする。	・既習の体調の表現, 天気について聞く。 How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. ・元気に歌う。	・児童が歌いづらい単語や表現を練習する。 ・音声とともに歌う。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Chant]</b> How do you spell your name? What sport do you like? ・チャンツを聞き歌えるところを歌う。	・一度チャンツを流し, 内容について質問する。 ・チャンツを再度流し, 歌えるところを歌うように励ます。	
展開 30分	<b>[Word Link]</b> PDのp.24(学校) ・学校の単語を復唱させる。	・音声を使って, 学校の単語を復唱させる。	PD 教師用絵カード
	<b>[Let's Try ①]</b> ポインティングゲーム ・言われたPDの単語に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。	・指導者が言ったPDの単語に触らせる。 ・指導者が出した絵カードの単語を言わせる。 ▶ ペアの6年生	教師用絵カード
	<b>[Starting Out]</b> ・前時の復習をする。 ・D~Eの音声を聞いて, 本体の□に順番を書き, 答え合わせをする。	・A~Cの音声を聞かせて, 前時の復習をする。 ・D~Eの音声を聞きながら, 本体の□に答えを記入させ, 答え合わせをする。	
	<b>[Let's Watch and Think]</b> ・音声を聞きながら, 分かったことを教科書に書き込む。 ・分かったことを発表する。	・名前, 出身地, 好きなことなどのポイントを押さえて聞くように指導する。児童の理解度に合わせて何回か聞かせてもよい。 ・分かったことを発表するときに, アメリカやメキシコについて知っていることを発表させる。 【評価】○[知識・技能](自分や友達との好きなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる)	指導者用 デジタルブック
	<b>[Word Link]</b> PDのp.16(国) ・国の名前を復唱させる。	・音声を使って, 国の名前を復唱させる。	PD
	<b>[Let's Try ①]</b> ポインティングゲーム ・言われたPDの国に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。	・指導者が言ったPDの国に触らせる。 ・指導者が出した絵カードの単語を言わせる。	教師用絵カード
	<b>[Starting Out]</b> ・D~Gの音声を聞いて, 本体の□に4~7の順番を書く。 ・答え合わせをする。	・D~Gの音声をもとに, □に4~7の順番を記入させ, 答え合わせをする。	指導者用 デジタルブック
文字指導 5分 5年生 6年生	<b>[Sounds and Letters]</b> ・B bの練習問題をして, 文字を書く。	・p.90のB bの音の練習問題をさせ, 文字を書かせる。 【評価】△[知識・技能](B bの音に慣れ親しみ, 大文字と小文字を書いている)	指導者用 デジタルブック
	<b>[Sounds and Letters]</b> ・C cの練習問題をして, 文字を書く。	・p.90のC cの音の練習問題をさせ, 文字を書かせる。 【評価】△[知識・技能](C cの音に慣れ親しみ, 大文字と小文字を書いている)	指導者用 デジタルブック
まとめ 5分	・まとめ ふり返り あいさつ	・本時の学習をまとめ, 次時につながるふり返りをする。	ふり返りシート

色の部分は  
6年生の教材

6年生は既習なので5年生をサポートする。  
Let's Try ①のゲームのバリエーションは, 指導書同梱の活動例案に50種類用意されている。デジタルブックにもある。

5, 6年ペアで協力して行う。

6年生のみで行う。  
5年生は6年生の活動を見る。

6年生教材であるが, 本単元末に向けて文字を書くことが必要となるため, 5年生にも少しずつ書く経験を取り入れる。



Unit 1 5年 Hello, friends! + 6年 This is me! 3/8 時間

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	・挨拶をする。	・既習表現を使い、体調、天候、日付、今日の時間割などについて英語でやり取りをする。	
	<b>[Let's Sing]</b> Hello, everyone. ・元気に歌う。	・児童が歌いつらい単語や表現を練習する。 ・音声とともに歌う。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Chant]</b> Where are you from? ・チャンツを聞き、歌う。	・チャンツを流し、一緒に歌う。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Small Talk]</b> ・先生からの問いに、 My favorite animal is ~. と答える。 ・友達とペアになり、たずね合う。	・What is your favorite animal? と児童にたずねる。 ・PD の p.12(動物)を参照させてもよい。 ・ペア活動を通じてたずね合うように指導する。	
	<b>[Small Talk]</b> ・先生からの問いに I like(スポーツ). と答える。	・What sport do you like? と児童にたずねる。 I like(スポーツ). の答え方を指導する。 ・PD の p.7(スポーツ)を参照させてもよい。	
展開 30分	<b>[Let's Listen 1]</b> ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。	・I like ~. と I don't like ~. の言い方を復習する。 ・音声を流して線を結ばせる。 ・答え合わせをする。 【評価】◎[知識・技能](自分や友達に好きなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現が身に付いている)	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Try 2]</b> ・活動のモデルとして、先生の好きなものを空欄に記入する。 ・ペアになって好きなものをたずね合い、空欄に記入する。	・What (color, sport, food) do you like? の質問の仕方を練習する。 ・PD で色やスポーツ、食べ物の単語を確認させてもよい。 ・活動のモデルとして、児童に質問させ(例: What color do you like?), 指導者が答え(例: I like red.)を言う。本体に日本語で答えを記入させる。 ・同様にスポーツと食べ物についても行う。 ・横のペア、前後のペア、という順番で行う。 【評価】○[思考・判断・表現](自分や友達の好きなもの・ことなどについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、やり取りをしている)	PD
	<b>[Let's Listen ①]</b> ・音声を聞きながら、登場人物の名前と出身地を書く。 ・答え合わせをする。 ・書かれている文を読む。 ・二人になりきり自己紹介をする。	・二人の名前と出身地を書かせる。 ・答え合わせをする。 ・書かれている文を児童と一緒に読む。 ・二人になりきり、ペアで自己紹介させる。 【評価】◎[知識・技能](好きなもの・ことや誕生日などについてのやり取りで使用される語句や表現が身に付いている。登場人物の名前をローマ字で書くことができる)	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Try ②]</b> ・巻末絵カードからカードを選ぶ。 ・カードを適切なところに置き、語順について考える。できた文を読む。 ・今回やり取りする表現を練習する。 ・ペアで尋ね合う。  5年生 I likeのみ 6年生 I can も加える	・巻末の絵カードの中から児童の好きな動物とできるスポーツを選ばせ、切り取らせる。 ・それらを適切なところに置かせ、英語の語順について考えさせる。できた文を読む。 ・今回のやり取りする表現を練習する。 ・1回目は横ペア、次に前後ペアで活動させる。 【評価】○[思考・判断・表現](好きなもの・ことや誕生日などについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、やり取りをしている)	
	<b>[Let's Read and Write ③]</b> ・モデル文が読まれるのを聞いて、声に出して読む。 ・p.86に自分のことを書く。	・モデル文の音声を流した上で、モデル文を見ながら声に出して読ませる。 ・p.86に自分のことを書かせる。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Word Link]</b> PD の p.6(色) ・色の単語を復唱させる。	・音声を流して、色の単語を復唱させる。	PD
	<b>[Word Link]</b> PD の pp.12-13(動物) ・動物の単語を復唱させる。	・音声を流して、動物の単語を復唱させる。	PD
まとめ 5分	・まとめ ふり返り あいさつ	・本時の学習をまとめ、次時につながるふり返りをする。	ふり返りシート

色の部分は  
6年生の教材

5年生も一緒にする。

5年の教材・6年の教材どちらか、児童の実態に応じて選択する。

①、③のみを学習し、  
次年度に②、④を学習する。

6年生のみで行う。  
5年生は6年生の活動を見る。  
①のみ/次年度は②を学習する。

6年生のみで行う。  
5年生は6年生の活動を見る。

児童の実態に応じて、扱う単語  
を選択する。

Unit 1 5年 Hello, friends! + 6年 This is me! 4/8 時間

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	・挨拶をする。 ・英語の問いに答える。	・既習表現を使い、体調、天候、日付、今日の時間割などについて英語でやり取りをする。	
	<b>[Let's Sing]</b> Hello, everyone. ・さくらと Lucas について復習し、 Deepa と Martin のスベル、出身地、 言語と誕生日を確認する。 ・曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	・一度曲を流し、さくらと Lucas のところを復習し、 Deepa と Martin についてのスベル、出身地、 言語と誕生日を確認する。 ・曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Chant]</b> Where are you from? ・チャンツを聞き歌えるところを歌う。	・一度チャンツを流し、内容について質問する。 ・チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Word Link]</b> PD の p.8(食べ物) ・食べ物の単語を復唱させる。	・音声を流して、食べ物の単語を復唱させる。	PD
	<b>[Word Link]</b> PD の pp.14-15(月・日付) ・月・日付の単語を復唱させる。	・音声を流して、月・日付の単語を復唱させる。	PD
展開 20分 5年生	<b>[Let's Listen 2]</b> ・聞こえた名前のつづりを○で囲む。	・音声を聞かせて、該当する文字を囲ませる。大文字をしっかりと見て、正しい文字群を見つけるように指導する。 ・ペア活動を通して名前のスベルをたずね合うように指導する。	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Listen 2]</b> ・音声を聞いて誕生日を書く。 ・答え合わせをする。	・歴史上の人物の誕生日についての音声を聞かせ、 答えを記入する。答え合わせをする。 ・時間があれば、それぞれの人物の説明をする。 【評価】◎[知識・技能](誕生日などについてのやり取りで使用される語句や表現が身に付いている)	指導者用 デジタルブック
	<b>[Let's Try 3]</b> ・似顔絵を描き、巻末の適当なカードを置く。 ・I と自分の名前を 4 線上に書く。	・自己紹介に使う二つの表現を、文字を見ながら確認する作業であることを伝え、最初に自分の似顔絵と英語の名前をかかせる。 ・I が「私」という意味であることを伝えた上で文字を書かせ、続いて自分の好きな色と食べ物の巻末絵カードを切り取って紙面に置くよう指示する。 ・周囲の友達とペアになり、二つの文を順番に読み合わせる。 ・児童の語順に対する気づきを促す。 【評価】◎[知識・技能](I や自分の名前をローマ字で書く。自分や好きなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現が身に付いている)	巻末絵カード
文字指導 5分 5年生	<b>[Sounds and Letters]</b> ・大文字の A~G の名前を言いながら書く。	・p.86 に大文字の A~G を、名前を言いながら書かせる(時間が足りない場合は宿題にする)。 【評価】△[知識・技能](アルファベットの A~G を書くことができる)	
展開 25分 6年生	<b>[Let's Try 3]</b> ・“When is your birthday?” “My birthday is ~.” の練習をする。 ・活動のモデルをもとに、先生の名前と誕生日を記入する。 ・ペアでやり取りをして、答えを記入する。	・“When is your birthday?” “My birthday is ~.” を練習する。 ・活動のモデルとして児童に質問をさせ、指導者が名前と誕生日を答える。ローマ字はアルファベットで、誕生日は日本語で答えを記入させる。 ・1回目は横ペア、次に前後ペアで活動させる。それぞれ聞いた人の名前と誕生日を教科書に書きこむように指示する。 【評価】◎[知識・技能](先生や友達の名前をローマ字で書くことができる。誕生日などについてのやり取りで使用される語句や表現が身に付いている)	
	<b>[Let's Read and Write ④]</b> ・モデル文が読まれるのを聞いて、声に出して読む。 ・p.86に自分のことを書く。	・モデル文の音声を流した上で、モデル文を見ながら声に出して読ませる。 ・p.86に自分のことを書かせる。	指導者用 デジタルブック
文字指導 5分 5・6年生	<b>[Sounds and Letters]</b> ・Dd, Ff の練習問題をして、文字を書く。	・p.90 の Dd, Ff の音の練習問題をさせ、文字を書かせる。	指導者用 デジタルブック
まとめ 5分	・まとめ ふり返り あいさつ	・本時の学習をまとめ、次時につながるふり返りをする。	ふり返りシート

色の部分は  
6年生の教材

歌、チャンツは実態に合わせて5年生のものを使用してもよい。

児童の実態に応じて、扱う単語  
を選択する。

5・6年生がペアで学習する。

5年生は6年生と一緒に聞き取る。

太田市内は5・6年生がそれぞれの  
学年で分かれて活動することを意味  
している。

指導者は学年別にわたりの指導  
を行う。  
活動前に、それぞれの活動内容を  
板書しておくなど、見通しを  
持たせる。



時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	・挨拶をする。	・既習の体調の表現, 天気について聞く。 How are you today? How is the weather?	
	[Let's Sing] Nice to meet you. ・元気に歌う。	・カラオケ機能などを使いながら歌う。	指導者用 デジタルブック
	[Let's Chant] How do you spell your name? What sport do you like? ・チャンツを聞き, 歌う。	・チャンツを流し, 一緒に歌う。	
	[Small Talk] ・先生からの質問に I like(色). と答える。	・What color do you like? と児童にたずねる。 I like(色). の答え方を指導する。 ・PD の p.6(色)を参照させてもよい。	
展開 20分 5年生	[Step 1] ・名刺カードに自分の名前を大文字で書く。 ・ペアを組んで, 名前のつづりをたずね合う。つづりを言う人は, カードを相手に見せながら言うようにする。	・Unit 1 の巻末コミュニケーションカードを1枚切って用意させる。 ・自分の名前(名)を書くように指示する。分からない場合は, 本体 p.85 を見るように指導する。 ・ALT(または児童)とモデル会話を行う。指導者用デジタルブックを使うこともできる。 ・モデルにならってペアで会話をするように指示する。名前のつづりを言うときは, カードを相手に見せながら言うように指示する。 【評価】◎[思考・判断・表現](名刺を作る活動を通じて, 自分の名前のつづりについて伝え合っている)	巻末コミュニケーションカード 指導者用 デジタルブック
	[Step 2] ・名刺カードの名前の下に好きなスポーツの絵を描く。 ・ペアを組んで, 好きなスポーツについてたずね合う。	・同じカードに自分の好きなスポーツの絵を描くように指示する。 ・ALT(または児童)とモデル会話を行う。 ・モデルにならってペアで会話をするように指示する。 ・次時にも使用するため, きちんと保管しておくよう指示する。 【評価】○[主体的に学習に取り組む態度](名刺を作る活動を通じて, 好きなスポーツについて選択して伝え合っている)	指導者用 デジタルブック
文字指導 5分 5年生	[Sounds and Letters] ・大文字の O~T・U~Z の名前を言いながら書く。	・アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 ・p.87 の大文字の O~T・U~Z を, 名前を言いながら書かせる(時間が足りない場合は宿題にする)。 【評価】△[知識・技能](大文字の O~T・U~Z を書くことができる)	指導者用 デジタルブック
展開 25分 6年生	[Step 1] ・教科書の文を読む。 ・「わたしのせりふ」を読む。 ・友達の「わたしのせりふ」を読む。	・音声を流し, 教科書の Emily についての文を後について読むように指示する。 ・p.86 の「わたしのせりふ」を声を出して読ませる。 ・横ペアで教科書を交換して相手の「わたしのせりふ」を声に出して読ませる。 ・前後ペアで同様のことをさせる。	指導者用 デジタルブック
	[Step 2] ・ヒントを読み, 復唱する。 ・「わたしのせりふ」を膨らませる。 ・「プロフィールカード」を作成する。 ・「プロフィールカード」を見せながら練習する。	・教科書のヒントを読み, 復唱させる。 ・ヒントを手がかりに p.86 に「わたしのせりふ」に追加の文を書くように指示する。 ・巻末のコミュニケーションカードの中から「プロフィールカード」を切り取らせる。 ・追加の文の情報も入れてカード完成させる。 ・カードを見せ合いながら, 横, 前後, 斜めペアで練習させる。 【評価】○[思考・判断・表現](名前や出身地, 好きなもの・ことなどを, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, プロフィールカードをかいている)	巻末コミュニケーションカード
文字指導 5分 5・6年生	[Sounds and Letters] ・G g の練習問題をして, 大文字を書く。	・p.90 の G g の音の練習問題をさせ, 文字を書かせる。 ・Sound Tennis や消しゴムゲームを行う。 【評価】△[知識・技能](G g の音に慣れ親しみ, 大文字と小文字を書いている)	指導者用 デジタルブック
まとめ 5分	・まとめ ふり返り あいさつ	・本時の学習をまとめ, 次時につながるふり返りをする。	ふり返りシート

色の部分は6年生の教材

太田み内は5・6年生がそれぞれの学年で分かれて活動することを意味している。

指導者は学年別に「わたりの指導」(複数の学年を行ったり来たりする指導)を行う。  
活動前に, それぞれの活動内容を板書しておくなど, 見通しを持たせる。

学年別(5年生)

学年別(6年生)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	・挨拶をする。	・既習の体調の表現, 天気について聞く。 How are you today? How is the weather?	
	[Let's Sing] Hello, everyone. ・元気に歌う。	・カラオケ機能などを使いながら歌う。	指導者用 デジタルブック
	[Let's Chant] Where are you from? ・チャンツを聞き, 歌う。	・チャンツを流し, 一緒に歌う。	
展開 15分 5年生	[Step 3] ・新しく2枚のカードに, 名前と絵などを記入する。 ・3枚の名刺を交換する。 ・新しく作った動物カードと食べ物カードを持ち, 同様の活動を行う。 ・使用したカードを p.34 に貼る。	・Unit 1 の巻末コミュニケーションカードを, 児童全員に少なくとも追加で1枚は渡せるように, 事前に印刷し, 配布する。 ・残りの巻末絵カード1枚も切り取らせる。 ・手元にある前時で作ったスポーツのカード以外の2枚のカードに名前を書かせ, カードの1枚には「好きな動物」, もう1枚には「好きな食べ物」の絵を描かせる。 ・各児童が, 前時のカードと合わせて3枚カードを持っていることを確認する。 ・Nice to meet you. の表現を確認する。 ・「スポーツ」で再度, ALT(または児童)とモデル会話を実演する。 ・モデル会話をもとに, 「スポーツ」「動物」「食べ物」の順に活動をさせる。活動ごとに相手を替えさせる。 ・活動が終わったあと, それぞれのカードを本人に戻させる。 ・一番気に入っている1枚を p.34 に貼らせる。 【評価】◎[思考・判断・表現](名刺を交換する活動を通じて, 自分の名前のつづりや好きなスポーツなどについて, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, 伝え合っている) 【評価】○[主体的に学習に取り組む態度](名刺を交換する活動を通じて, 自分の名前のつづりや好きなスポーツなどについて, 他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)	巻末コミュニケーションカード 指導者用 デジタルブック 巻末絵カード
	[Step 3] ・「始めのあいさつ」と「終わりのあいさつ」を練習する。 ・ペアになった上で, グループを作る。 ・グループの前でプロフィールカードを見せながら発表する。 ・「話すときに工夫したこと」「聞くときに工夫したこと」を記入する。 ・使用したカードを p.30 に貼る。	・6年のコミュニケーション活動の目的は, 人前で発表する力を身に付けることと伝える。 ・大きくはっきりした声で, 他者に配慮して話すことの重要性を伝える。 ・同時に聞くときの工夫についても考えさせる。 ・活動を行う前に「始めのあいさつ」と「終わりのあいさつ」を練習させる。 ・発表が終わったら, 「話すときに工夫したこと」「聞くときに工夫したこと」を記入させる。 ・カードを p.30 に貼らせる。 【評価】◎[思考・判断・表現](かいたプロフィールカードを使いながら, 名前や出身地, 好きなもの・ことなどを, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, 発表している) 【評価】○[主体的に学習に取り組む態度](かいたプロフィールカードを使いながら, 名前や出身地, 好きなもの・ことなどについて, 他者に配慮しながら主体的に発表しようとしている)	
文字指導 5分 6年生	[Sounds and Letters] ・H h の練習問題をして, 文字を書く。	・p.90 の H h の音の練習問題をさせ, 文字を書かせる。 【評価】△[知識・技能](H h の音に慣れ親しみ, 大文字と小文字を書いている)	指導者用 デジタルブック
まとめ 5分	・まとめ ふり返り あいさつ	・本時の学習をまとめ, 次時につながるふり返りをする。	ふり返りシート

5年生同士でやり取りをする。  
6年生は5年生の活動の様子を見て, 良いところを見つけたりアドバイスしたりする。

6年生が一人ずつ前に出て発表する。  
5年生は6年生の良かったところを見つけたり, 聞いて分かったことを発表したりするなどし, 目的を持って聞くことができるようにしたい。

色の部分は6年生の教材



【資料】【NEW HORIZON Elementary 5・6 折衷案による年間指導計画例】

●本書p.2の◎のケースをご紹介します。

A年度		B年度	
学期	単元名	学期	単元名
A・B年度共通単元名・単元目標		A・B年度共通単元名・単元目標	
1 学期	<p>(自己紹介)にかかわる単元)</p> <p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>① [Hello, friends.] (5年教材・Unit 1)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・名前や好きなもの、ことを伝えたり、応じたりするとき使う語句や表現が身に付いている。</p> <p>・活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>・日本の四季や文化について紹介し、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで名前や好きなもの、ことを伝えたり、応じたりすることができる。</p> <p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>① [This is Me!] (6年教材 Unit 1)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・「誕生日」や「誕生日」以外の誕生日について、活字体の大文字・小文字を理解し、自分が発表したい文を、例を参考に書き写すことができる。</p> <p>・名前や好きなもの、ことを伝えたり、応じたりするとき使う語句や表現が身に付いている。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで名前や好きなもの、ことを伝えたり、応じたりすることができる。</p>	1 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>② [When is your birthday?] (5年教材 Unit 2)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・誕生日や好きなものを伝えたり、応じたりするとき使う語句や表現が身に付いている。</p> <p>・活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>・日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで誕生日や好きなものを伝えたり、応じたりすることができる。</p>

1 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>③ [How is your school life?] (6年教材 Unit 2)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・世界の生活や地域と自分の生活や地域を比較し、自分たちの生活や地域について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで自分の学校生活や地域について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>③ [Let's go to Italy.] (6年教材 Unit 3)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・行ってみたい国や地域とその理由を説明し、自分たちの生活や地域について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい国や地域について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 1 (外国の人に「イタリア」を伝えよう) (6年教材)</p> <p>・行ってみたい国や地域とその理由を説明し、自分たちの生活や地域について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい国や地域について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>	1 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>③ [What do you want to study?] (5年教材 Unit 3)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・行ってみたい職業や職業について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい職業について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 1 (外国の人に自己紹介しよう) (5年教材)</p> <p>・行ってみたい職業や職業について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい職業について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>
1 学期合計時数		1 学期合計時数	
26		26	

A年度		B年度	
学期	単元名	学期	単元名
A・B年度共通単元名・単元目標		A・B年度共通単元名・単元目標	
2 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>④ [Summer Vacations in the world.] (6年教材 Unit 4)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・世界の夏休みの過ごし方を知り、自分たちの過ごし方について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで世界の夏休みの過ごし方について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>④ [The cat can bake bread well.] (6年教材)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・猫の身体や表現を興味深く使うことができる。</p> <p>・活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>・日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで猫の身体や表現について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>	2 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>④ [The cat can bake bread well.] (6年教材)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・猫の身体や表現を興味深く使うことができる。</p> <p>・活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>・日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで猫の身体や表現について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>

2 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑤ [Where is the post office?] (5年教材 Unit 5)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・場所をたずねたり、答えたりするとき使う簡単な語句や表現が身に付いている。</p> <p>・活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>・日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで場所をたずねたり、答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 2 (地域の場所を外国人の人に紹介しよう) (5年教材)</p> <p>・行ってみたい場所や場所について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい場所や場所について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>	2 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑤ [We all live on the Earth.] (6年教材 Unit 5)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりや表現が身に付いている。</p> <p>・活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>・日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで地球上に暮らす生き物について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 3 (世界と日本のつながりや表現のつながりや) (6年教材)</p> <p>・世界と日本のつながりや表現のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで世界と日本のつながりや表現のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>
2 学期合計時数		2 学期合計時数	
26		26	

2 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑥ [Let's think about our food.] (6年教材 Unit 6)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・食べ物や動物、食べ物などのつながりや表現について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで食べ物や動物のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 3 (世界と日本のつながりや表現のつながりや) (6年教材)</p> <p>・世界と日本のつながりや表現のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで世界と日本のつながりや表現のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>	2 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑥ [Let's think about our food.] (6年教材 Unit 6)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・食べ物や動物、食べ物などのつながりや表現について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで食べ物や動物のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 3 (世界と日本のつながりや表現のつながりや) (6年教材)</p> <p>・世界と日本のつながりや表現のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで世界と日本のつながりや表現のつながりやについて、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>
2 学期合計時数		2 学期合計時数	
26		26	

A・B年度共通単元名・単元目標		A・B年度共通単元名・単元目標	
学期	単元名	学期	単元名
A・B年度共通単元名		A・B年度共通単元名	
3 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑦ [Welcome to Japan.] (5年教材 Unit 7)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・日本の四季や文化について紹介し、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑦ [My Best Memory.] (6年教材 Unit 7)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・小学校生活や将来について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで小学校生活や将来について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 3 (日本のすてきな思い出を紹介しよう) (6年教材)</p> <p>・行ってみたい思い出や思い出について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい思い出や思い出について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>	3 学期	<p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑦ [Welcome to Japan.] (5年教材 Unit 7)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・日本の四季や文化について紹介し、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで日本の四季や文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎単元名 (使用教材)</p> <p>⑦ [My Best Memory.] (6年教材 Unit 7)</p> <p>◎単元目標</p> <p>・小学校生活や将来について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで小学校生活や将来について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>◎ Check Your Steps 3 (日本のすてきな思い出を紹介しよう) (6年教材)</p> <p>・行ってみたい思い出や思い出について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい思い出や思い出について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>
3 学期合計時数		3 学期合計時数	
18		18	
年間総時数		年間総時数	
70		70	

A・B年度共通単元名	<p>◎ Check Your Steps 3 (日本のすてきな思い出を紹介しよう) (6年教材)</p> <p>・行ってみたい思い出や思い出について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・世界や外国の文化について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p> <p>・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい思い出や思い出について、興味を持って聞いたり受け答えたりすることができる。</p>	2	
年間総時数	70	年間総時数	70



1 学期前半「同単元同内容異程度」A・B 年度共通

- ・前半では5年生に配慮し、2年間をかけて繰り返し扱う単元を設定する。
- ・1単元を少ない時間で扱うため、児童の実態に合わせて活動をj選ずる（5年生が6年生教材の内容を学習する際には特に配慮する）。
- ・6年生にとつては、前年度の既習内容であるので、モデルやデモンstrーション役を行ったり、前年度よりも発展的な内容で発表ややり取りを行ったりする。
- ・前年度の成果物を活用し、6年生が前年度からの伸びを感じられるようにする。

単元名 使用教材・単元	(A・B 年度共通) 単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の配慮事項	時数
◎自己紹介	○単元目標 (5年生) ・名前や好きなもの・ことを伝えたり、応じたりするとき使う 語句や表現が身に付いている。活字体の大文字を理解している。 ・名前や好きなもの・ことについて、学習した語句や表現から言 いたいことを選んだり付け加えたりして、伝え合ったりするこ とができる。 ・他者に配慮しながら、自ら進んで名前や好きなもの・ことを伝 えようとする。世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。	5年 Unit 1 How do you spell your name? E-M-I-L-Y: Emily. What [sport / color / food] do you like? I like (soccer). Nice to meet you. スポーツ、色、食べ物、学校など	(5年生) ・名前やつづり、好きなもの・ことを友達とたずね合う た上で「名刺カード」を作り、 交換する。 / p.34 に貼る。	自己紹介の仕方は、 第5学年は5年教材、 第6学年は6年教材 を使って行い、異程度 で目標等を設定する。	
①【Hello, friends.】 5年 Unit 1 pp.10-17 ★技能:聞く、話す(やり取り)、読む、書く ★他教科との関連: 社会、国語、総合、道徳	○単元目標 (6年生) ※「誕生日」はA 年度6年生のみ ・名前や好きなもの・こと、(誕生日) を発表するとき使う語句 や表現が身に付いている。 ・活字体の大文字・小文字を理解し、自分が発表したい文を、例 を参考に書き写すことができる。 ・名前や好きなもの・こと、(誕生日) について、学習した語句や 表現から言いたいことを選んだり付け加えたりして、発表する ことができる。 ・他者に配慮しながら、自ら進んで名前や好きなもの・こと、(誕 生日) を発表しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本 の共通点や相違点に気付こうとする。	6年 Unit 1 I'm (Emily). I'm from (Singapore). I like (dogs). My birthday is (May 5th). アルファベット、国、動物、月、 日付など	(6年生) ・名前や好きなもの・こと、 誕生日などについてたずね 合ったり、書いたりする。 ・例を参考に伝えたい文を 書き写したりする。 ・書き溜めた文をもとに「プ ロフィールカード」を作り、 発表する。 / p.30 に貼る。		8

2 学期後半「同単元同内容同程度」A 年度

- ・6年生の教材を扱う際は、語彙は児童の実態を踏まえて選ずるなど配慮する。
- ・知っている言語材料に差がある児童が共に学ぶこととなるため、5年生の児童に配慮した授業づくりが求められる。

単元名 使用教材・単元	(A 年度) 単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の 配慮事項	時数
②【How is your school life?】 6年 Unit 2 pp.14-21 ★技能:聞く、話す(やり取り・ 発表)、読む、書く ★他教科との関連: 社会、国語、道徳、総合	・世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活を伝え合うと きに使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字・小文字を 理解し、伝え合いたい文を、例を参考に書き写すことができる。 ・世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活を伝え合う ことについて、学習した語句や表現から言いたいことを選じた り付け加えたりして、自分たちの生活について伝え合うことがで きる。 ・他者に配慮しながら、自ら進んで世界の子供たちの日常生活を 知り、自分たちの生活を伝え合おうとする。英語の音に慣れ親しみ、 世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。	6年 Unit 2 I live in (Ueda in Japan). I go to (Naka Elementary School). I usually (get up) at (six). What is my treasure? Can you guess? It's (white). It's (round). Is it (a baseball)? Yes, that's right. My treasure is (this baseball). 乗り物、一日の時間、一日の生活、 日常生活など	・世界の子供たちの学校生活や日 課、宝物などの日常生活について の話を聞く。 ・登場人物のしているテレビ番組 や宝物などの日常生活について聞 いたり、たずね合ったりする。 ・例を参考に伝えたい文を書き写 したりする。 ・書き溜めた文をもとに「宝物紹 介カード」を作り、発表する。 / p.30 に貼る。	6年の教材なの で、扱う語彙は、 児童の実態を踏 まえて選ずる。	8
③【Let's go to Italy.】 6年 Unit 3 pp.22-29 ★技能:聞く、話す(やり取り・ 発表)、読む、書く ★他教科との関連: 社会、国語、総合、道徳 (学び方みつけた! p.32) で国語、書写	・行ってみたい国や地域とその理由を言うときに使う語句や表現 が身に付いている。活字体の大文字・小文字を理解し、説明した い文を、例を参考に書き写すことができる。 ・行ってみたい国や地域と、その理由や説明について、学習した 語句や表現から言いたいことを選んだり付け加えたりして、説 明することができる。 ・他者に配慮しながら、自ら進んで行ってみたい国や地域と、そ の理由を説明しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本 の共通点や相違点に気付こうとする。	6年 Unit 3 (France) is a nice country. You can see (the Eiffel Tower). Do you know (this tower)? What can we eat in (France)? You can eat (macaron). It's delicious. 国、様子、食べ物、味など	・世界の国の有名な建物や食べ物 などについての話や、クイズや旅 行代理店のCMの音声などを聞く。 ・分かったことを友達とたずね 合ったり、世界の国と有名なもの についてメモして書いたりする。 ・例を参考に伝えたい文を書き写 したりする。 ・「旅先案内カード」を作り、ま た友達と協力してポスターを作っ て、発表する。 / p.31 に貼る。	6年の教材なの で、扱う語彙は、 児童の実態を踏 まえて選ずる。	8
Check Your Steps 1 【外国の人にメッセージを伝 えよう】 6年 pp.30-31 ★技能:聞く、話す(やり取り・ 発表)	・学習した語句や表現をある程度正しく使うことができる。自分の名前を書 くことができる。 ・学習した語句や表現から言いたいことを選んだり、付け加えたりして、 まとまりのある発表を行うことができる。 ・相手に伝わるように資料を準備して、それを使って発表することができる。 相手に伝わるような話し方の工夫ができる。	既習事項の総復習	児童が知っている外国の人にメッセージを伝 えるという想定で、その人の説明や感想など を考えてメッセージカードを作り、スピーチ をする。	6年の教材なの で、扱う語彙は、 児童の実態を踏 まえて選ずる。	2



2 1 学期後半「同単元同内容程度」B年度

・知っている言語材料に差がある児童が共に学ぶこととなるため、5年生の児童に配慮した授業づくりが求められる。

単元名 使用教材・単元	(B年度) 単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の 配慮事項	時数
② [When is your birthday?] 5年 Unit 2 pp.18-25 ★技能: 聞く, 話す (やり取り), 読む, 書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 総合, 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日やほしいものを伝えたり, 応じたりするとき使う語句や表現が身に付いている。活字体の小文字を理解している。</li> <li>誕生日やほしいものについて, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, 伝え合ったりすることができる。</li> <li>他者に配慮しながら, 自ら進んで誕生日やほしいものを伝えようとする。世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	5年 Unit 2 When is your birthday? My birthday is (May 5th). What do you want for your birthday? I want (a yellow T-shirt). Thank you. This is for you. Here you are. 月, 日付, 衣類, 状態, 日常生活など	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日やほしいものについての登場人物の会話や, 世界の行事や祝日についての話を聞く。</li> <li>誕生日やクリスマス, お正月の行事の日付や, ほしいものについてたずね合う。</li> <li>誕生日の日付やほしいものをたずね合った上で「バースデーカード」を作り, 友達と交換する。 / p.34 に貼る。</li> </ul>		8
③ [What do you want to study?] 5年 Unit 3 pp.26-33 ★技能: 聞く, 話す (やり取り・発表), 読む, 書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 総合, 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びたい教科やなりたいたい職業を伝えたり, 応じたりするとき使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字と小文字を理解している。</li> <li>学びたい教科やなりたいたい職業について, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, 伝え合ったりすることができる。</li> <li>他者に配慮しながら, 自ら進んで学びたい教科やなりたいたい職業を伝えようとする。世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	5年 Unit 3 What do you want to study? I want to study (home economics). What do you want to be? I want to be (a baker). Good luck! 教科, 職業, 天気, 曜日, 気分など	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物や世界の友達の学びたい教科や時間割, なりたい職業についての話を聞く。</li> <li>学びたい教科やなりたいたい職業について友達とたずね合う。</li> <li>学びたい教科やなりたいたい職業についてたずね合った上で, 「夢に近づく時間割」を作り, 紹介する。 / p.35 に貼る。</li> </ul>		8
Check Your Steps 1 【外国の人に自己紹介しよう】 5年 pp.34-35 ★技能: 聞く, 話す (やり取り・発表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した語句や表現をある程度正しく使うことができる。自分の名前を書くことができる。</li> <li>学習した語句や表現から言いたいことを選択したり, 付け加えたりして, まとまりのある発表を行うことができる。</li> <li>相手に伝わるように資料を準備して, それを使って発表することができる。相手に伝わるような話し方の工夫ができる。</li> </ul>	既習事項の総復習	児童が初めて会う外国の人に対して, 自己紹介をすることを想定し, 好きなもの・こと, ほしいもの・こと, 誕生日などから伝えたいことを選んでパネルを作り, スピーチを行う。		2

3 2 学期前半「同単元同内容異程度」A・B年度共通

- 前半では5年生に配慮し, 2年間をかけて繰り返し扱う単元を設定する。
- 1 単元を少ない時数で扱うため, 児童の実態に合わせて活動を選択する (5年生が6年生教材の内容を学習する際には特に配慮する)。
- 6年生にとっては, 前年度の既習内容であるので, モデルやデモンストレーション役を行ったり, 前年度よりも発展的な内容で発表ややり取りを行ったりする。
- 前年度の成果物を活用し, 6年生が前年度からの伸びを感じられるようにする。

単元名 使用教材・単元	(A・B年度共通) 単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の配慮事項	時数
④ [Summer Vacations in the World] 6年 Unit 4 pp.34-41 ★技能: 聞く, 話す (やり取り・発表), 読む, 書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 道徳, 総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の夏休みの過ごし方を知り, 自分の思い出を紹介するとき使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字・小文字を理解し, 紹介したい文を, 例を参考に書き写すことができる。</li> <li>世界の夏休みの過ごし方を知り, 自分の思い出を紹介することについて, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, 自分の思い出を紹介することができる。</li> <li>他者に配慮しながら, 自ら進んで世界の夏休みの過ごし方を知り, 自分の思い出を紹介しようとする。英語の音に慣れ親しみ, 世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	6年 Unit 4 I went to (the mountains). I enjoyed (camping). I ate (curry and rice). It was (great). したこと, 自然, デザート, 味, 場所, 動作, 食べ物, 気持ちなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の夏休みの思い出についての話を聞く。</li> <li>夏休みの思い出や昨日食べたものについて友達とたずね合ったり, 例を参考に伝えたい文を書き写したりする。</li> <li>書き溜めた文をもとに「夏休みの記録メモ」を作り, 発表する。 / p.60 に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生は前年度の既習内容であるので, モデルやデモンストレーション役も行う。</li> <li>扱う語彙は, 例えば5年生は示されているもののみとするが, 6年生はそれ以外のものも加えて扱うようにするなど, 児童の実態を踏まえて選択する。</li> </ul>	4
⑤ [He can bake bread well.] 5年 Unit 4 pp.38-45 ★技能: 聞く, 話す (やり取り・発表), 読む, 書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 総合, 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の身近な人を紹介するとき使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字と小文字を理解している。</li> <li>地域の身近な人の紹介について, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, 紹介することができる。</li> <li>他者に配慮しながら, 自ら進んで地域の身近な人について紹介しようとする。英語の音に慣れ親しみ, 世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	5年 Unit 4 Can you (cook well)? [Yes, I can. / No, I can't.] [I / You / She / He] [can / can't] (cook well). Who is this? This is (Mark Smith). [He / She] is a baker. [He / She] can (bake bread well). It's [my / your] turn. 動作, 建物, 楽器, 家族, 人など	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物が住む地域の場所や身近な人についての話を, できること・できないことについての話を聞く。</li> <li>先生や友達にインタビューをしたり, そのことをもとに名前やできることを書いたり, 巻末絵カードを置いたりする。 / 「身近な紹介カード」を作ったりその人の職業やできることなどをたずね合ったりした上で, ショー・アンド・テルをする。 / p.63 に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生は前年度の既習内容であるので, モデルやデモンストレーション役も行う。</li> <li>扱う語彙は, 例えば5年生は示されているもののみとするが, 6年生はそれ以外のものも加えて扱うようにするなど, 児童の実態を踏まえて選択する。</li> </ul>	4



4 2 学期後半「同単元内容同程度」A年度

・知っている言語材料に差がある児童が共に学ぶこととなるため、5年生の児童に配慮した授業づくりが求められる。

単元名 使用教材・単元	(A年度)単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の 配慮事項	時数
⑥ [Where is the post office?] 5年 Unit 5 pp.46-53 ★技能：聞く、話す（やり取り）、読む、書く ★他教科との関連：社会、国語、総合、道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所をたずねたり、答えたりするときを使う簡単な語句や表現が身に付いている。活字体の大文字と小文字を理解している。</li> <li>場所をたずねたり、答えたりすることについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、たずねたり、答えたりすることができる。</li> <li>他者に配慮しながら、自ら進んで場所をたずねたり、答えたりしようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	5年 Unit 5 Where is (the post office)? Go straight. Turn [left / right]. It's [in / by / on / under] (the desk). Excuse me. You're welcome. 建物、道案内、日常生活、位置など	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の道案内や、さがしものがどこにあるか、外国の記号についての話を聞く。</li> <li>さがしものがどこにあるのかたずね合ったり、登場人物になりきって道案内をしたりする。</li> <li>町のお気に入りの場所などを地図に記入して伝え合ったりした上で、「町」にあったらよい場所カード]を描き、道案内をする。／ p.63に貼る。</li> </ul>		8
⑦ [What would you like?] 5年 Unit 6 pp.54-61 ★技能：聞く、話す（やり取り）、読む、書く ★他教科との関連：算数、家庭、社会、国語、総合、道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>ていねいに注文したり、値段をたずねたりするときを使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字と小文字を理解している。</li> <li>ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりすることについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したりたずねたり、答えたりすることができる。</li> <li>他者に配慮しながら、自ら進んでていねいに注文をしたり、値段をたずねたりしようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	5年 Unit 6 What would you like? I'd like (a salad), please. How much is it? It's (570) yen. Sorry. No, thanks. デザート、味、食べ物、数など	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物がていねいに注文したり、値段をたずねたりする場面や、世界の料理についての話を聞く。</li> <li>地域のふぶさと料理やおみやげなどを考えて注文したり、値段をたずね合ったり、メニューを考えたりする。</li> <li>食べてみたい日本各地の名物を決めて巻末の絵カードを使って注文をしたり、会計し合った上で、「ふぶ」とメニューレイ]を使って、買い物をし合う。／ p.62に貼る。</li> </ul>		8
Check Your Steps 2 【地域のおすすめを紹介しよう】 5年 pp.62-63 ★技能：聞く、話す（やり取り・発表）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した語句や表現をある程度正しく使うことができる。自分の名前を書くことができる。</li> <li>学習した語句や表現から言いたいことを選択したり、付け加えたりして、まとまりのある発表を行うことができる。</li> <li>相手に伝わるように資料を準備して、それを使って発表することができる。</li> <li>相手に伝わるような話し方の工夫ができる。</li> </ul>	既習事項の総復習	児童の地域のおすすめを外国の人に紹介することを想定し、建物や人、特産物などから伝えたいことを選び、パンフレットを作り、スピーチを行う。		2

4 2 学期後半「同単元内容同程度」B年度

・6年生の教材を扱う際は、語彙は児童の実態を踏まえて選択するなど配慮する。  
 ・知っている言語材料に差がある児童が共に学ぶこととなるため、5年生の児童に配慮した授業づくりが求められる。

単元名 使用教材・単元	(B年度)単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の 配慮事項	時数
⑥ [We all live on the Earth.] 6年 Unit 5 pp.42-49 ★技能：聞く、話す（やり取り・発表）、読む、書く ★他教科との関連：理科、国語、社会、道徳、総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表するときを使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字・小文字を理解し、発表したい文を例を参考に書き写すことができる。</li> <li>地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表することについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、そのつながりを発表することができる。</li> <li>他者に配慮しながら、自ら進んで地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	6年 Unit 5 Where do (sea turtles) live? (Sea turtles) live in (the sea). What do (sea turtles) eat? (Sea turtles) eat (jellyfish). 海の生き物、動物、虫、自然、体など	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球に暮らす生き物がどこで暮らし、何を食べているのかについての話を聞く。</li> <li>生き物がどこで暮らし、何を食べているのか、などについて友達とたずね合ったり、巻末カードを置いたりする。</li> <li>書き留めた文をもとに、「フー ドチキンカード]を作った上で、グループで食物連鎖のポスターを作り発表する。／ p.60に貼る。</li> </ul>	6年の教材なので、扱う語彙は、児童の実態を踏まえて選択する。	8
⑦ [Let's think about our food.] 6年 Unit 6 pp.50-59 ★技能：聞く、話す（やり取り・発表）、読む、書く ★他教科との関連：算数、社会、保健、国語、家庭、総合、道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表するときを使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字・小文字を理解し、発表したい文を、例を参考に書き写すことができる。</li> <li>食材を通じて世界のつながりについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、メニューを発表することができる。</li> <li>他者に配慮しながら、自ら進んで食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	6年 Unit 6 I ate (curry and rice) last night. I usually eat (beef curry) at home. (The beef) is from (Australia). (Beef) is in the (red) group. 食事、食べ物、食材、果物・野菜など	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物が食べたものや産地、栄養素のグループについての話を聞く。</li> <li>食べ物の産地や栄養素のグループについて、チラシや絵カードを使って友達とたずね合ったり、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。</li> <li>書き留めた文をもとに「オリジナルカレーメモ]を作成し、発表する。／ p.61に貼る。</li> </ul>	6年の教材なので、扱う語彙は、児童の実態を踏まえて選択する。	8
Check Your Steps 2 【世界と日本のつながりを紹介しよう】 6年 pp.60-61 ★技能：聞く、話す（やり取り・発表）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した語句や表現をある程度正しく使うことができる。簡単な語句を書き写すことができる。</li> <li>学習した語句や表現から言いたいことを選択したり、付け加えたりして、まとまりのある発表を行うことができる。</li> <li>相手に伝わるように資料を準備して、それを使って発表することができる。</li> <li>相手に伝わるような話し方の工夫ができる。</li> </ul>	既習事項の総復習	持ち物、動物、食べ物などの身の回りのものから世界と自分のつながりを探して、ポスターを作り、スピーチをする。	6年の教材なので、扱う語彙は、児童の実態を踏まえて選択する。	2



5 3 学期前半「同単元同内容異程度」A・B 年度共通

- ・ 5年生に配慮し、2年間をかけて繰り返し扱う単元を設定するが、⑨⑩の単元は小学校のまとめ、中学校校接続を意識して6年生を中心にした活動ができるように工夫する。
- ・ 1単元を少ない時数で扱うため、児童の実態に合わせて活動を選択する（5年生が6年生教材の内容を学習する際には特に配慮する）。
- ・ 6年生にとっては、前年度の既習内容であるので、モデルやデモンストラーション役を行ったり、前年度より発展的な内容で発表ややり取りを行ったりする。
- ・ 前年度の成果物を活用し、6年生が前年度からの伸びを感じられるようにする。

単元名 使用教材・単元	(A・B 年度共通) 単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の 配慮事項	時数
⑧ 【Welcome to Japan.】 5年 Unit 7 pp.66-73 ★技能:聞く,話す(やり取り・発表),読む,書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 道徳, 総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の四季や文化について紹介するときに使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字と小文字を理解している。</li> <li>・ 日本の四季や文化について、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、紹介することができる。</li> <li>・ 他者に配慮しながら、自ら進んで日本の四季や文化について紹介しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	<p>5年 Unit 7 Welcome to Japan. We have (hanami) in (spring). What do you do on New Year's Day? I usually (play karuta). Oh, really? Why do you like winter? 年中行事, 食べ物, 遊び, 季節, 様子, 状態, 形, 頻度など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の日本の四季や文化について食べ物の話を聞く。</li> <li>・ 日本の遊びや年中行事について、クイズを出し合ったり、その行事にすることや食べるものについてたずね合う。</li> <li>・好きな季節やその理由、その季節で行う行事をたずね合った上で「日本の四季ポストカード」を作り、紹介する。／ p.82 に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生は前年度の既習内容であるので、モデルやデモンストラーション役も行う。</li> <li>・ 扱う語彙は、例えば5年生は示されているもののみとするが、6年生はそれ以外のものも加えて扱うようにするなど、児童の実態を踏まえて選択する。</li> </ul>	4
⑨ 【My Best Memory】 6年 Unit 7 pp.64-71 ★技能:聞く,話す(やり取り・発表),読む,書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 総合, 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校生活の思い出を伝え合うときに使用する語句や表現が身に付いている。活字体の大文字・小文字を理解し、伝えたい文を、例を参考に書き写すことができる。</li> <li>・ 小学校生活の思い出について、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合うことができる。</li> <li>・ 他者に配慮しながら、思い出の学校行事を伝え合うとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	<p>6年 Unit 7 My best memory is (our school trip). We went to (Kyoto) (in June). We saw (many temples). I enjoyed (talking with my friends). 学校行事, したこと, 建物, 動作など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物や世界の子供たちの小学校生活の思い出や学校行事についての話を聞く。</li> <li>・ 学校行事や修学旅行で見たこと、楽しんだことなどについてたずね合ったリ、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。</li> <li>・書き溜めた文をもとに「アルバムシート」を作り、グループで紹介し合う。／ p.80 に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生は前年度の既習内容であるので、モデルやデモンストラーション役も行う。</li> <li>・ 6年生にとって小学校生活をふり返る単元であることから、単元末のスピーチなどは6年生を中心に行う。</li> </ul>	4
⑩ 【Who is your hero?】 5年 Unit 8 pp.74-81 ★技能:聞く,話す(やり取り),読む ★他教科との関連: 社会, 国語, 総合, 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あこがれの人について発表するときに使う語句や表現が身に付いている。活字体の大文字と小文字を理解している。</li> <li>・ あこがれの人について、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、発表することができる。</li> <li>・ 他者に配慮しながら、自ら進んで自分のあこがれの人について発表しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	<p>5年 Unit 8 Who is your hero? My hero is (my brother). Why is he your hero? He is good at (cooking). He is always (kind to me). What can he do well? 一日の生活, 性格, 頻度, スポーツ, 楽器など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活やあこがれの人、海を越えて活躍する日本のヒーローたちの話を聞いたり</li> <li>・ 登場人物の日課についてのゲームをしたり、絵をヒントに友達と質問をし合ったりする。</li> <li>・ ヒーローを考えて、「ヒーロー紹介カード」を作り、その理由をペアでたずね合った上で、ショー・アンド・テルをする。／ p.82 に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生は前年度の既習内容であるので、モデルやデモンストラーション役も行う。</li> <li>・ 単元末の言語活動を、5年生時は「6年生を紹介する」、6年生時は「自分のヒーローを紹介する」などとし、6年生が前年度よりもさまざまな語彙や表現に触れることができるようにする。</li> </ul>	4
⑪ 【My Future, My Dream】 6年 Unit 8 pp.72-79 ★技能:聞く,話す(やり取り・発表),読む,書く ★他教科との関連: 社会, 国語, 総合, 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校生活や将来について考え、夢を発表するとき使用する語句や表現が身に付いている。活字体の大文字・小文字を理解し、発表したい文を例を参考に書き写すことができる。</li> <li>・ 中学校生活や将来について、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、夢を発表することができる。</li> <li>・ 他者に配慮しながら、中学校生活や将来を考え、夢を発表しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界と日本の共通点や相違点に気付こうとする。</li> </ul>	<p>6年 Unit 8 I want to join (the volleyball team). I want to enjoy (sports day). I'm good at (running). I want to be (a volleyball player). 部活動, 学校行事, 動作, 教科, 職業など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生と中学生の登場人物の、中学校生活や将来の夢についての話を聞く。</li> <li>・ 中学校で楽しみたい学校行事や入りたい部活動、将来なりたい職業などについてたずね合ったリ、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。</li> <li>・ 書き溜めた文をもとに「夢宣言カード」を作り、スピーチをする。／ p.81 に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生は前年度の既習内容であるので、モデルやデモンストラーション役も行う。</li> <li>・ 6年生にとって中学校へのつなぎの単元であることから、単元末のスピーチなどは6年生を中心に行う。</li> </ul>	4

6 3 学期後半「学年別の内容による指導」A・B 年度共通

- ・ 3 学期後半の単元は学年別で異なる教材を用いて学習する。
- ・ 帯活動やふり返りの時間、単元末の発表などでは、5・6年生と一緒に活動することができるように配慮する。

単元名 使用教材・単元	(A・B 年度共通 5 年生) 単元目標	言語材料	主な活動例	指導上の 配慮事項	時数
Check Your Steps 3 【日本のすてきを紹介しよう】 5年 pp.82-83 ★技能:聞く,話す(やり取り・発表) ★他教科との関連: 社会, 国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習した語句や表現をある程度正しく使うことができる。簡単な語句を書き写すことができる。</li> <li>・ 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり、付け加えたりして、まとまりのある発表を行うことができる。</li> <li>・ 相手に伝わるように資料を準備して、それを使って発表することができる。相手に伝わるような話し方の工夫ができる。</li> </ul>	<p>既習事項の総復習</p>	<p>英語の先生に「日本のすてき」を紹介することを想定し、人や行事、食べ物などから伝えたいことを選び、紹介カードの1ページを作り、スピーチをする。／クラス全員の日本紹介ガイドのページを集めてガイドブックにする。</p>		2
Check Your Steps 3 【寄せ書きのメッセージを伝えよう】 6年 pp.80-81 ★技能:聞く,話す(やり取り・発表) ★他教科との関連: 社会, 国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習した語句や表現をある程度正しく使うことができる。簡単な語句を書き写すことができる。</li> <li>・ 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり、付け加えたりして、まとまりのある発表を行うことができる。</li> <li>・ 相手に伝わるように資料を準備して、それを使って発表することができる。相手に伝わるような話し方の工夫ができる。</li> </ul>	<p>既習事項の総復習</p>	<p>卒業記念としてクラスのみんに伝えたいメッセージを寄せ書きに書く。／メッセージを紹介するスピーチをする。</p>		2



